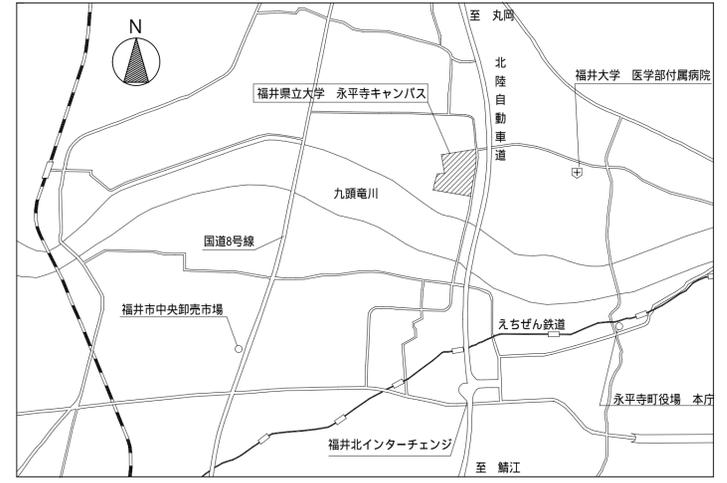
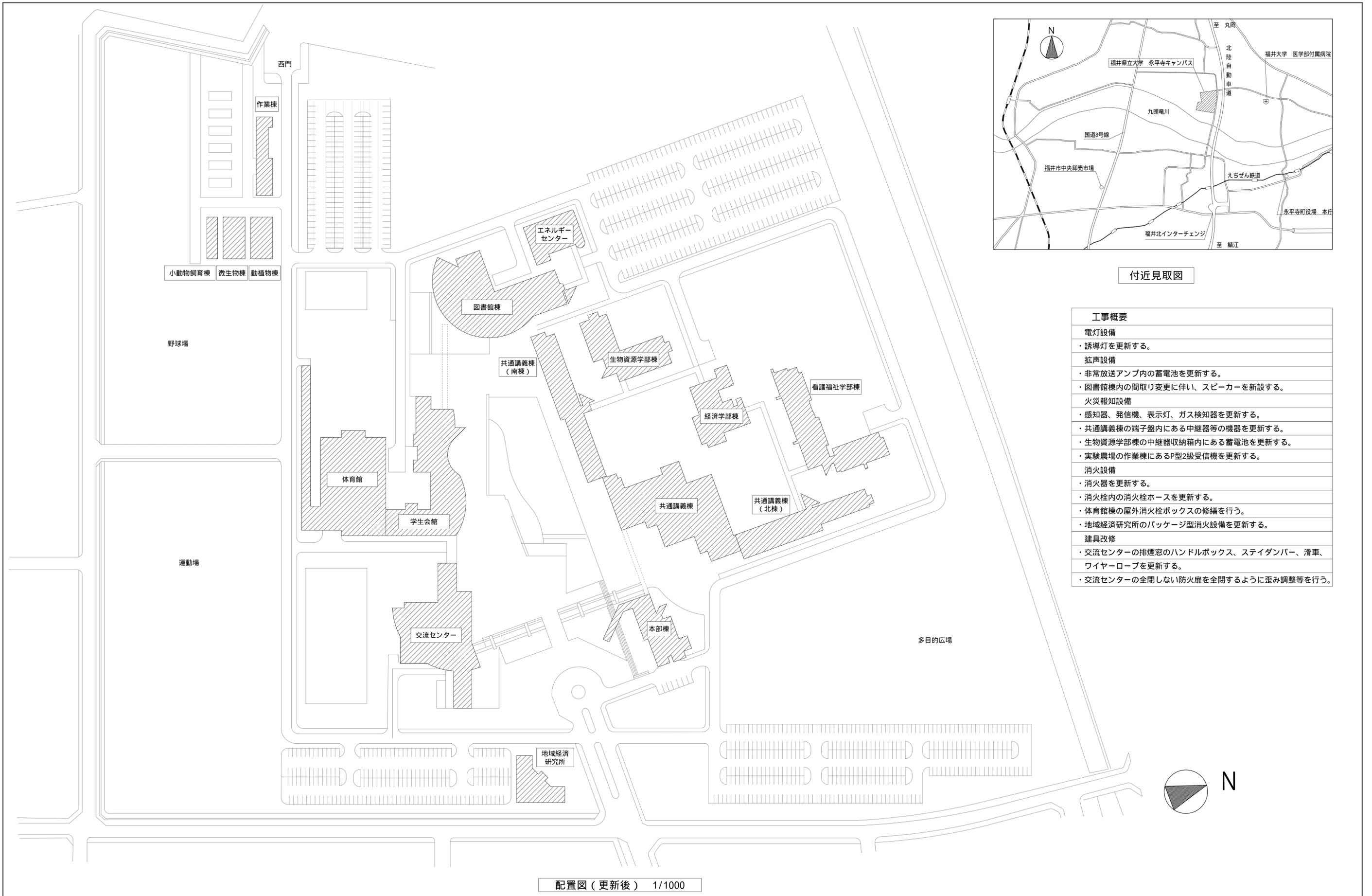


永平寺キャンパス 消防設備改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
E-00	図面リスト	E-16	看護福祉学部棟 電灯・火報設備 1・2階平面図
E-01	電気設備工事特記仕様書1	E-17	看護福祉学部棟 電灯・火報設備 3・4階平面図
E-02	電気設備工事特記仕様書2	E-18	看護福祉学部棟 電灯設備 5階平面図
E-03	配置図・付近見取図	E-19	学生会館 電灯・消火設備 1階平面図
E-04	拡声設備 系統図	E-20	学生会館 電灯・火報設備 2階平面図
E-05	火報設備 系統図	E-21	体育館 火報・消火設備 1・2階平面図
E-06	本部棟 拡声・火報・消火設備 1～3階平面図	E-22	交流センター 電灯・拡声・火報・消火設備・建具改修 1階平面図
E-07	共通講義棟 電灯・火報・消火設備 1・2階平面図	E-23	交流センター 電灯・火報・消火設備・建具改修 2階平面図
E-08	共通講義棟（南棟） 火報・消火設備 1・2階平面図	E-24	交流センター 電灯・消火設備 3階平面図
E-09	共通講義棟（北棟） 電灯・消火設備 1・2階平面図	E-25	交流センター 矩形詳細図（参考図）
E-10	図書館棟 電灯・拡声・火報・消火設備 1・2階平面図	E-26	エネルギーセンター 拡声・消火設備 1階平面図
E-11	経済学部棟 電灯・消火設備 1～6階平面図	E-27	作業棟・動植物棟・微生物棟・小動物飼育棟 火報設備 1階平面図
E-12	経済学部棟 電灯・火報・消火設備 7～10階平面図	E-28	地域経済研究所 消火設備 1階平面図
E-13	生物資源学部棟 電灯・火報設備 1・2階平面図		
E-14	生物資源学部棟 電灯・火報設備 3・4階平面図		
E-15	生物資源学部棟 火報設備 5・6階平面図		

電気設備工事特記仕様書										R 6.7改訂																																																																																																																																																																																																																															
I. 工事概要 1. 工事場所 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1 2. 建物概要 <table border="1"> <thead> <tr> <th>棟名称</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>延べ面積 (m²)</th> <th>消防法施行令別表第一</th> <th>建築基準法別表第一の用途</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A: 本部棟</td><td>RC造</td><td>3階</td><td>1,693.22</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>B: 共通講義棟</td><td>RC造</td><td>2階</td><td>2,502.20</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>C: 共通講義棟 南棟</td><td>RC造</td><td>2階</td><td>4,695.22</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>D: 共通講義棟 北棟</td><td>RC造</td><td>2階</td><td>1,947.12</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>E: 図書館棟</td><td>RC造</td><td>2階</td><td>3,154.43</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>F: 経済学部棟</td><td>S造</td><td>10階</td><td>5,182.57</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>G: 生物資源学部棟</td><td>RC造</td><td>6階</td><td>4,982.15</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>H: 看護学部棟 旧館</td><td>RC造</td><td>5階</td><td>3,982.84</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>I: 看護学部棟 新館</td><td>RC造</td><td>5階</td><td>1,830.16</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>J: 学生会館</td><td>RC造</td><td>2階</td><td>2,691.41</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>K: 体育館</td><td>RC造</td><td>2階</td><td>2,235.18</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>L: 交流センター</td><td>RC造</td><td>3階</td><td>3,352.39</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>M: エネルギーセンター</td><td>RC造</td><td>1階</td><td>580.21</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>N: 作業棟</td><td>RC造</td><td>1階</td><td>288.00</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>O: 動植物棟</td><td>RC造</td><td>1階</td><td>304.34</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>P: 微生物棟</td><td>RC造</td><td>1階</td><td>296.52</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>Q: 小動物飼育棟</td><td>RC造</td><td>1階</td><td>125.69</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> <tr><td>R: 地域経済研究所</td><td>W造</td><td>2階</td><td>962.15</td><td>第7項</td><td>学校</td><td></td></tr> </tbody> </table>										棟名称	構造	階数	延べ面積 (m ²)	消防法施行令別表第一	建築基準法別表第一の用途	備考	A: 本部棟	RC造	3階	1,693.22	第7項	学校		B: 共通講義棟	RC造	2階	2,502.20	第7項	学校		C: 共通講義棟 南棟	RC造	2階	4,695.22	第7項	学校		D: 共通講義棟 北棟	RC造	2階	1,947.12	第7項	学校		E: 図書館棟	RC造	2階	3,154.43	第7項	学校		F: 経済学部棟	S造	10階	5,182.57	第7項	学校		G: 生物資源学部棟	RC造	6階	4,982.15	第7項	学校		H: 看護学部棟 旧館	RC造	5階	3,982.84	第7項	学校		I: 看護学部棟 新館	RC造	5階	1,830.16	第7項	学校		J: 学生会館	RC造	2階	2,691.41	第7項	学校		K: 体育館	RC造	2階	2,235.18	第7項	学校		L: 交流センター	RC造	3階	3,352.39	第7項	学校		M: エネルギーセンター	RC造	1階	580.21	第7項	学校		N: 作業棟	RC造	1階	288.00	第7項	学校		O: 動植物棟	RC造	1階	304.34	第7項	学校		P: 微生物棟	RC造	1階	296.52	第7項	学校		Q: 小動物飼育棟	RC造	1階	125.69	第7項	学校		R: 地域経済研究所	W造	2階	962.15	第7項	学校		II. 工事仕様 1. 共通仕様 1) 現場説明書、特記仕様書、設計図面に記載がない事項は、国土交通省大臣官房官庁官舎部棟の仕様書等による。 「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)」(以下、「標準仕様書」という。) 「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。) 「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和7年版)」(以下、「標準図」という。) 2) 工事種目に機械設備工事および建築工事を含む場合、その仕様は当該図面による。 3) 設計変更の対象事項および手続きならびに工事一時中止に係る手続き等は、「工事請負契約におけるガイドライン(総合版)」(福井県土木部)による。 2. 特記仕様 1) 項目および特記事項は、印のついたものを本工事に適用する。ただし、印のない場合は印を適用する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>章</th> <th>項目</th> <th>特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">一般事項</td> <td>施工条件</td> <td>現場説明書による。</td> </tr> <tr> <td>事務処理</td> <td>福井県営繕工事監督事務処理要領による。</td> </tr> <tr> <td>近接工事の干渉等</td> <td>密接に関係のある同一工事区内の工事と同一施工業者が落札した場合は、両工事を合算したもので落札後調整を行う。</td> </tr> <tr> <td>調整について</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工計画書</td> <td>標準仕様書第1編1.1.2.2により施工計画書を作成し、監督職員に提出する。</td> </tr> </tbody> </table>										章	項目	特記事項	一般事項	施工条件	現場説明書による。	事務処理	福井県営繕工事監督事務処理要領による。	近接工事の干渉等	密接に関係のある同一工事区内の工事と同一施工業者が落札した場合は、両工事を合算したもので落札後調整を行う。	調整について		施工計画書	標準仕様書第1編1.1.2.2により施工計画書を作成し、監督職員に提出する。	III. 仕様 1. 足場・作業構台 別契約の関係受注者が定置したものは、無償で使用できる。 本工事で設ける場合は改修標準仕様書第1編 2.2.2 によるほか、足場の設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」の2の(1)手すり据置き方式または(2)手すり先行専用足場方式により行うこと。 内部足場 A種、B種、C種、D種 E種(単管足場) F種(くさび緊結式足場) G種(枠組足場) 外部足場 A種(枠組足場) B種(くさび緊結式足場) C種(単管足場) D種、E種 F種(高所作業車) なお、単管足場、枠組足場の設置場所は図示または監督職員の指示による。 仮設間仕切り 屋内に仮設間仕切りを設ける場合は、改修標準仕様書第1編 2.2.3 による。 養生 標準仕様書第1編 1.3.10 または改修標準仕様書第1編第1章第7節による。 既存部分の養生 行う 行わない 養生の方法 改修標準仕様書による () 行わない 固定された備品、机・ロッカー等移動・復旧 行う 数量等() 行わない 後片付け 標準仕様書第1編 1.3.11 または改修標準仕様書第1編 1.3.11 による。 撤去 撤去を行う場合は、改修標準仕様書第1編第1章第8節によるほか、次による。 工物物撤去後の補修は(モルタル補修)とする。 再使用機材 取外した再使用する機材は、清掃を行い、絶縁状態を確認後に取付けるほか、改修標準仕様書第1編 1.4.3 による。なお照明器具等の見えがかり部分は、洗剤を使用するなどして十分に清掃を行う。 発生材の処理等 (1) 標準仕様書第1編 1.3.9 または改修標準仕様書第1編第1章第9節による。 引き渡すを要するもの なし あり (金属類 盤類 電線、ケーブル 機器類) 家電リサイクル法による処分を要するもの なし あり(図示) (2) 特別管理産業廃棄物 無 有(PCB含有機器 据置鉛蓄電池(硫酸) 廃油) (運搬および処分費は 本工事(PCB含有機器を除く) 別途) PCBを含有する電気機器等は、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適切な処理の推進に関する特別措置法(平成13年法律第65号)」によるほか、PCBが流出しない保管容器に収納し、建物管理者に引渡す。 (3) 放射性物質を含むイオン化式感知器 無 有(運搬・処分費は 本工事 別途) 製造業者または販売業者に回収を委託すること。 (4) 六ふっ化硫黄(SF6)ガス 無 有(運搬・処分費は 本工事 別途) ガス絶縁開閉器、ガス絶縁変圧器等、受変電機器に含まれるSF6ガスは、製造者又はガス回収業者に回収を委託し、再利用または再資源化する。 (5) ボード等内外装材の撤去復旧に際しては、アスベスト含有建材とみなして必要な対策を講じた上、適切に処分すること。 (6) 上記以外のものについては関係法令に従い適切に処理する。 構外搬出適切処理(運搬・処分費を含む 処分地) 構内指示の場所に敷きならし 構内指示の場所にたい種 現場説明書による 環境への配慮 (1) 「建設機械に関する技術基準」および「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(国土交通省)による排出ガス対策および低騒音型建設機械を使用する。 (2) 発生材の処理等 再資源化を図るもの 蛍光ランプ、HIDランプ 小型二次電池 金属類 建設汚泥 アスファルト・コンクリート塊 コンクリート塊 建設発生木材 (3) 再生資源の利用 再生クラッシュラン 再生アスファルト合材 (4) 提出書類 以下の書類について、提出用ファイル(電子データ)を監督職員に提出する。 ①再生資源利用(計画・実施)書 ②再生資源利用促進(計画・実施)書 グリーン購入調達記録表の提出 資材、工法、建設機械において、工事の特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、「福井県庁グリーン購入推進方針(平成13年4月27日策定)」に基づき環境資材等の使用を積極的に推進するものとし、その調達実績を記録した「公共工事に係るグリーン購入調達記録表」を監督職員に提出する。 情報共有システム 利用しない (ただし、受注者より利用したい旨の申し入れがあった場合は、発注者はこれを承諾する。)用 利用する (情報共有システム運用ガイドライン(案)福井県版を基に、福井県標準のシステムに登録し利用すること。) 電子納品 (1) 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品は、「電子納品の手引き(案)福井県版」(以下「要領等」という。)に基づいて行う。 (2) 成果品は「要領等」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体(CD-R)で2部提出する。 (3) 電子成果品の提出の際には電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルスチェックを実施したうえで提出する。 電子納品の対象 工事関係資料のうち電子納品の対象とする納品資料を下表に示す。 詳細については、「電子納品の手引き(案)福井県版」による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>フォルダ名称</th> <th>資料大分類</th> <th>ファイル形式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>PLAN</td><td>施工計画書</td><td>PDF形式</td></tr> <tr><td>SCHEDULE</td><td>工程表</td><td>PDF形式</td></tr> <tr><td>MEET</td><td>打合せ簿</td><td>PDF形式</td></tr> <tr><td>MATERIAL</td><td>機材関係資料</td><td>PDF形式</td></tr> <tr><td>PROCESS</td><td>施工関係資料</td><td>PDF形式</td></tr> <tr><td>INSPECT</td><td>検査関係資料</td><td>PDF形式</td></tr> <tr><td>SALVAGE</td><td>発生材関係資料</td><td>PDF形式</td></tr> <tr><td>DRAWINGF</td><td>完成図</td><td>SXF(sxf)形式およびJW-CAD形式</td></tr> <tr><td>MAINT</td><td>保全に関する資料</td><td>PDF形式</td></tr> <tr><td>OTHS</td><td>契約関係資料</td><td>PDF形式(注1)</td></tr> <tr><td></td><td>施工図</td><td>SXF(sxf)形式</td></tr> <tr><td></td><td>完成写真</td><td>JPEG形式(注3)</td></tr> <tr><td></td><td>工事実績情報</td><td>PDF形式</td></tr> <tr><td></td><td>工事の一時中止</td><td>PDF形式</td></tr> <tr><td></td><td>工期の変更</td><td>PDF形式</td></tr> <tr><td></td><td>文化財その他埋蔵物</td><td>PDF形式</td></tr> <tr><td></td><td>その他の資料</td><td>PDF形式</td></tr> <tr><td></td><td>工事写真</td><td>JPEG形式(100万画素程度)</td></tr> </tbody> </table> (注4) 注1: 元請・下請関係届出書、現場指示書は契約関係資料に入れる。それ以外については手引きによる。 注2: ファイル形式は上表による。これによれない場合は監督職員と協議する。 注3: 完成写真は電子画像の他、[四つ切 キャビネ版]のプリントを()部提出する。 注4: フォルダ構成など、「営繕工事写真撮影要領令和5年版」(国土交通省大臣官房官庁官舎部棟)によるほか、監督職員の指示による。ただし画像データの編集はファイル名のみとする。										フォルダ名称	資料大分類	ファイル形式	PLAN	施工計画書	PDF形式	SCHEDULE	工程表	PDF形式	MEET	打合せ簿	PDF形式	MATERIAL	機材関係資料	PDF形式	PROCESS	施工関係資料	PDF形式	INSPECT	検査関係資料	PDF形式	SALVAGE	発生材関係資料	PDF形式	DRAWINGF	完成図	SXF(sxf)形式およびJW-CAD形式	MAINT	保全に関する資料	PDF形式	OTHS	契約関係資料	PDF形式(注1)		施工図	SXF(sxf)形式		完成写真	JPEG形式(注3)		工事実績情報	PDF形式		工事の一時中止	PDF形式		工期の変更	PDF形式		文化財その他埋蔵物	PDF形式		その他の資料	PDF形式		工事写真	JPEG形式(100万画素程度)
棟名称	構造	階数	延べ面積 (m ²)	消防法施行令別表第一	建築基準法別表第一の用途	備考																																																																																																																																																																																																																																			
A: 本部棟	RC造	3階	1,693.22	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
B: 共通講義棟	RC造	2階	2,502.20	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
C: 共通講義棟 南棟	RC造	2階	4,695.22	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
D: 共通講義棟 北棟	RC造	2階	1,947.12	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
E: 図書館棟	RC造	2階	3,154.43	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
F: 経済学部棟	S造	10階	5,182.57	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
G: 生物資源学部棟	RC造	6階	4,982.15	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
H: 看護学部棟 旧館	RC造	5階	3,982.84	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
I: 看護学部棟 新館	RC造	5階	1,830.16	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
J: 学生会館	RC造	2階	2,691.41	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
K: 体育館	RC造	2階	2,235.18	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
L: 交流センター	RC造	3階	3,352.39	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
M: エネルギーセンター	RC造	1階	580.21	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
N: 作業棟	RC造	1階	288.00	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
O: 動植物棟	RC造	1階	304.34	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
P: 微生物棟	RC造	1階	296.52	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
Q: 小動物飼育棟	RC造	1階	125.69	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
R: 地域経済研究所	W造	2階	962.15	第7項	学校																																																																																																																																																																																																																																				
章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																							
一般事項	施工条件	現場説明書による。																																																																																																																																																																																																																																							
	事務処理	福井県営繕工事監督事務処理要領による。																																																																																																																																																																																																																																							
	近接工事の干渉等	密接に関係のある同一工事区内の工事と同一施工業者が落札した場合は、両工事を合算したもので落札後調整を行う。																																																																																																																																																																																																																																							
	調整について																																																																																																																																																																																																																																								
	施工計画書	標準仕様書第1編1.1.2.2により施工計画書を作成し、監督職員に提出する。																																																																																																																																																																																																																																							
フォルダ名称	資料大分類	ファイル形式																																																																																																																																																																																																																																							
PLAN	施工計画書	PDF形式																																																																																																																																																																																																																																							
SCHEDULE	工程表	PDF形式																																																																																																																																																																																																																																							
MEET	打合せ簿	PDF形式																																																																																																																																																																																																																																							
MATERIAL	機材関係資料	PDF形式																																																																																																																																																																																																																																							
PROCESS	施工関係資料	PDF形式																																																																																																																																																																																																																																							
INSPECT	検査関係資料	PDF形式																																																																																																																																																																																																																																							
SALVAGE	発生材関係資料	PDF形式																																																																																																																																																																																																																																							
DRAWINGF	完成図	SXF(sxf)形式およびJW-CAD形式																																																																																																																																																																																																																																							
MAINT	保全に関する資料	PDF形式																																																																																																																																																																																																																																							
OTHS	契約関係資料	PDF形式(注1)																																																																																																																																																																																																																																							
	施工図	SXF(sxf)形式																																																																																																																																																																																																																																							
	完成写真	JPEG形式(注3)																																																																																																																																																																																																																																							
	工事実績情報	PDF形式																																																																																																																																																																																																																																							
	工事の一時中止	PDF形式																																																																																																																																																																																																																																							
	工期の変更	PDF形式																																																																																																																																																																																																																																							
	文化財その他埋蔵物	PDF形式																																																																																																																																																																																																																																							
	その他の資料	PDF形式																																																																																																																																																																																																																																							
	工事写真	JPEG形式(100万画素程度)																																																																																																																																																																																																																																							
完成時の提出図書等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>製本</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">完成図(変更設計図を含む)</td> <td rowspan="2">長期保全計画書</td> <td>2部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2部</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 注: 完成図白焼紙 A1版()部、A3版2部を提出する。 (2) 保守点検に必要な工具類一式を、監督職員に提出する。										区分	種類	製本	備考	完成図(変更設計図を含む)	長期保全計画書	2部		2部		(1) 標準仕様書および改修標準仕様書による完成図等を作成し、監督職員に提出する。 電子納品によるほか、提出部数および作成様式等は下記のとおりとする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>製本</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">完成図(変更設計図を含む)</td> <td rowspan="2">長期保全計画書</td> <td>2部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2部</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 注: 完成図白焼紙 A1版()部、A3版2部を提出する。 (2) 保守点検に必要な工具類一式を、監督職員に提出する。										区分	種類	製本	備考	完成図(変更設計図を含む)	長期保全計画書	2部		2部																																																																																																																																																																																																			
区分	種類	製本	備考																																																																																																																																																																																																																																						
完成図(変更設計図を含む)	長期保全計画書	2部																																																																																																																																																																																																																																							
		2部																																																																																																																																																																																																																																							
区分	種類	製本	備考																																																																																																																																																																																																																																						
完成図(変更設計図を含む)	長期保全計画書	2部																																																																																																																																																																																																																																							
		2部																																																																																																																																																																																																																																							
設計図										設計図 A1の白焼きを()部、A3の白焼きを()部製本し提出する。																																																																																																																																																																																																																															
著作権等										当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																																																																																																																																																																																																																															
一点点検等										対象となる点検 一点点検 一点点検および二点点検 受注者は「県有施設一点点検等実施要領(土木部公共建築課)」に基づき一点点検等を実施する。施工に起因する不良箇所があれば補修する。																																																																																																																																																																																																																															
耐震施工										設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人 建築研究所監修)により、基礎、架台、アンカーボルトについて耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基礎施工要領は標準図(機械設備工事編)(施工25-29)による。 (1) 設計用水平震度 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="4">耐震安全性の分類</th> </tr> <tr> <th>重要機器・水槽</th> <th>一般機器・水槽</th> <th>重要機器・水槽</th> <th>一般機器・水槽</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階</td> <td>2.0(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.0(1.5)</td> </tr> <tr> <td>屋上および塔屋</td> <td><2.0></td> <td><1.5></td> <td><1.5></td> <td><1.0></td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>0.6(1.0)</td> </tr> <tr> <td>1階</td> <td><1.5></td> <td><1.0></td> <td><1.0></td> <td><0.6></td> </tr> <tr> <td>および地下階</td> <td>1.0(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.4(0.6)</td> </tr> </tbody> </table> 注1()内の数値は防振支持の機器の場合、<>の数値は水槽類に適用する。 2 重要機器(水槽類)は、下記による。(水槽類には燃料タンク等を含む。) 配電盤 直流電源装置 非常用発電装置 交換機 電算用電源 UPS装置 自動火報知設備 防災設備 監視制御装置 危険物貯蔵装置 火を使用する設備 避難経路上に設置する機器 3 上層階の定義は、次による。 6階建以下の場合是最上階、7~9階建の場合は上層2階、 10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階 (2) 設計用鉛直震度 設計用鉛直震度は設計用水平震度の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。										設置場所	耐震安全性の分類				重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽	上層階	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)	屋上および塔屋	<2.0>	<1.5>	<1.5>	<1.0>	中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)	1階	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>	および地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)																																																																																																																																																																																				
設置場所	耐震安全性の分類																																																																																																																																																																																																																																								
	重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽																																																																																																																																																																																																																																					
上層階	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)																																																																																																																																																																																																																																					
屋上および塔屋	<2.0>	<1.5>	<1.5>	<1.0>																																																																																																																																																																																																																																					
中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)																																																																																																																																																																																																																																					
1階	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>																																																																																																																																																																																																																																					
および地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)																																																																																																																																																																																																																																					
○建物への配管										地盤変位への対応																																																																																																																																																																																																																															
引込部の耐震処置										想定沈下量 小規模0.2m以下 中規模0.6m以下 大規模1.0m以下																																																																																																																																																																																																																															
あと施工アンカー										新規に作成する基礎・構造体に設備を設置する場合には、原則としてあと施工アンカーは使用してはならない。 配管、機器等の吊り下げ用アンカーには接着系アンカーを使用してはならない。 施工後確認試験を行う。ただし、吊りボルト用アンカー等軽微なものは監督職員との協議により省略することができる。 試験方法 国土交通省大臣官房官庁官舎部棟の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)8.12.7による。																																																																																																																																																																																																																															
アンカーボルトのナット用合成樹脂製キャップ										屋外設置機器のアンカーボルトのナット部分には、合成樹脂製キャップをかぶせる。																																																																																																																																																																																																																															
適用区分										建築基準法に基づき定められた風速および地表面粗度区分 V ₀ (3 0 3 2 3 4) 地表面粗度区分(I II III IV) 条例により定められた積雪荷重 垂直積雪量 c m 単位荷重 N / c m ² m ² 以下の設備に対して建築基準法に定めるところによる風圧力および積雪荷重に対し、構造耐力上安全である旨の検討(計算等)を行い、監督職員に報告し承諾を得る。 受雷部および引下げ導線 太陽電池アレイおよび接続箱 風車発電装置 テレビ共同受信用アンテナおよびアンテナマスト 太陽電池式ボールド型屋外時計																																																																																																																																																																																																																															
風圧力および積雪荷重の検討																																																																																																																																																																																																																																									
防火区画貫通部等の処理										(1) 電線等が防火区画または防火上主要な間仕切りを貫通する場合には、関係法令(建築基準法施行令第112条、第113条、114条、第129条の2の4)に従うほか、標準仕様書第2編 2.1.10 および 2.1.11 または改修標準仕様書第2編 2.1.11および 2.1.12により、適切な措置を行う。 (2) 大臣認定を受けた工法で施工する場合は、認定書の写しを提出し、監督職員の承諾を受けるとともに、認定工法の表示を行う。																																																																																																																																																																																																																															
○はつりおよび穴開け										はつりおよび穴開けを行う場合は、改修標準仕様書第1編第2章第1節によるものとし、既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターを使用し、モルタル等を充て込んで補修する。																																																																																																																																																																																																																															
電線										特記なきものはEM・IEとする。																																																																																																																																																																																																																															
電線類										EM電線、EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲンおよび鉛を含まない材料で構成されたものとする。																																																																																																																																																																																																																															
機器内配線等										下記の機器内配線およびケーブルには、EM電線およびEMケーブルを使用する。 ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 分電盤 OA盤 実験盤 開閉器箱 制御盤 キュービクル式配電盤 直流電源装置 交流無停電電源装置(簡易型を除く)																																																																																																																																																																																																																															
ケーブル配線										ケーブル配線の場合、接地線は原則としてケーブルの芯線数を追加して利用する。ただし、幹線は除く。原則として専用の支持材での支持とするが、改修工事等でこれによれない場合は監督職員の承諾を受ける。																																																																																																																																																																																																																															
年度別										R 7																																																																																																																																																																																																																															
公立大学法人 福井県立大学										環境システム設計																																																																																																																																																																																																																															
7年 8月										代表取締役 松山 憲雄 福井県福井市花堂東2丁目411																																																																																																																																																																																																																															
第一分組 第二分組 第三分組 審査										総括 設計																																																																																																																																																																																																																															
図面番号										永平寺キャンパス 消防設備改修工事																																																																																																																																																																																																																															
E - 01										図面名称 電気設備工事特記仕様書1 縮尺 1/NON																																																																																																																																																																																																																															

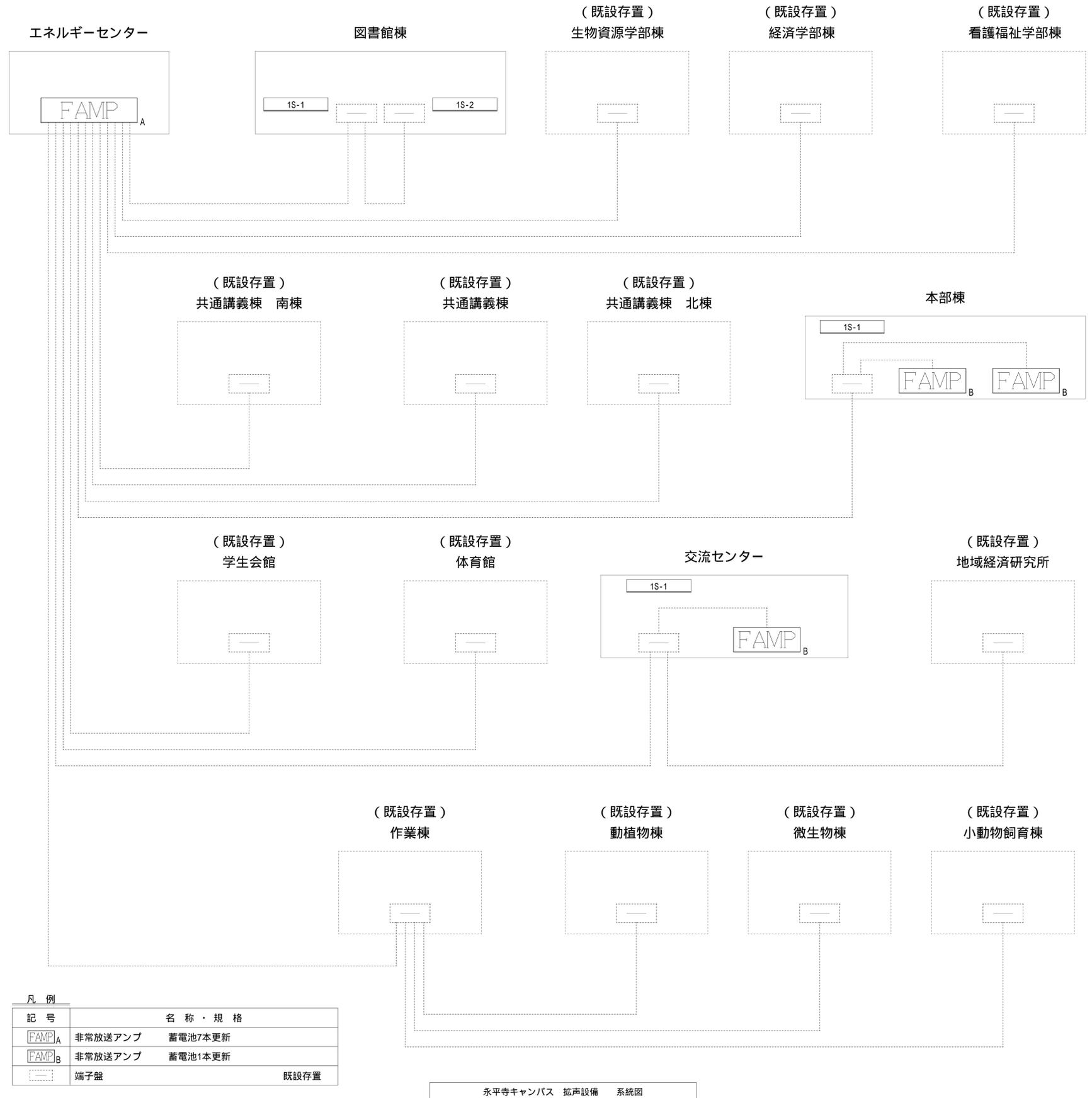


付近見取図

工事概要
電灯設備 ・誘導灯を更新する。
拡声設備 ・非常放送アンプ内の蓄電池を更新する。 ・図書館棟内の間取り変更に伴い、スピーカーを新設する。
火災報知設備 ・感知器、発信機、表示灯、ガス検知器を更新する。 ・共通講義棟の端子盤内にある中継器等の機器を更新する。 ・生物資源学部棟の中継器収納箱内にある蓄電池を更新する。 ・実験農場の作業棟にあるP型2級受信機を更新する。
消火設備 ・消火器を更新する。 ・消火栓内の消火栓ホースを更新する。 ・体育館棟の屋外消火栓ボックスの修繕を行う。 ・地域経済研究所のパッケージ型消火設備を更新する。
建具改修 ・交流センターの排煙窓のハンドルボックス、ステイダンパー、滑車、ワイヤーロープを更新する。 ・交流センターの全閉しない防火扉を全閉するように歪み調整等を行う。

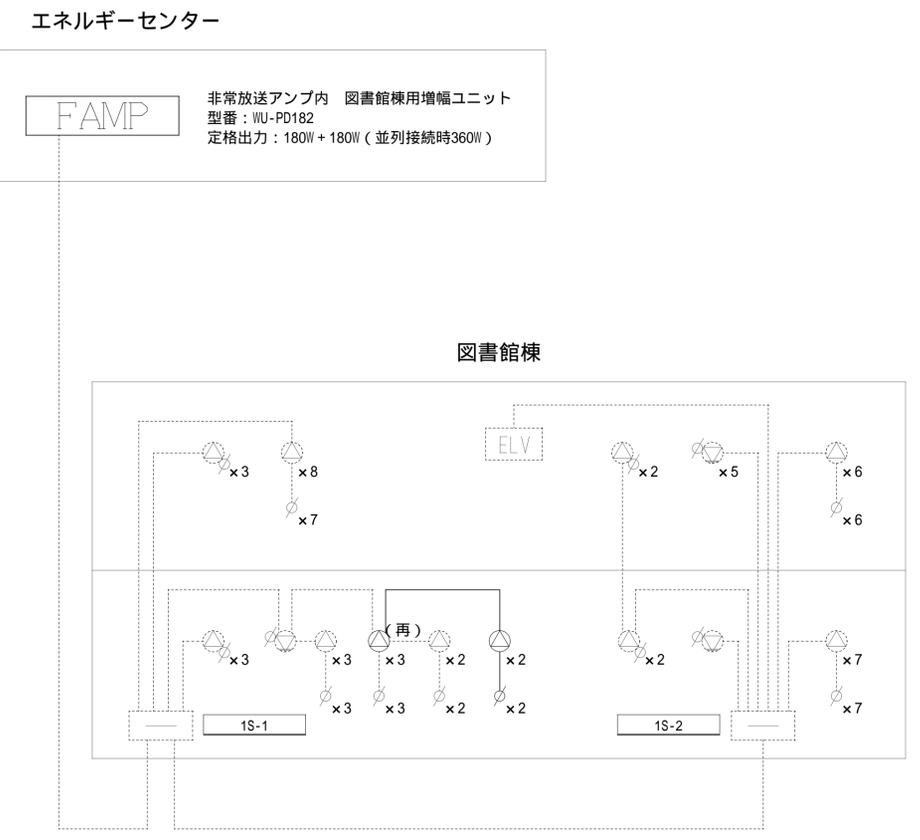
配置図（更新後） 1/1000

年度別 R 7	公立大学法人 福井県立大学	代表取締役 松山 憲雄 福井県福井市花堂東2丁目4-1-1	総括	設計	工事名称 永平寺キャンパス 消防設備改修工事	図面番号 E - 03
7 年 8 月	第一分画 第二分画 第三分画 備考	環境システム設計			図面名称 配置図・付近見取図	縮尺 A2=1:1414 A3=1:2000



凡例

記号	名称・規格
FAMP _A	非常放送アンプ 蓄電池7本更新
FAMP _B	非常放送アンプ 蓄電池1本更新
□	端子盤 既設存置

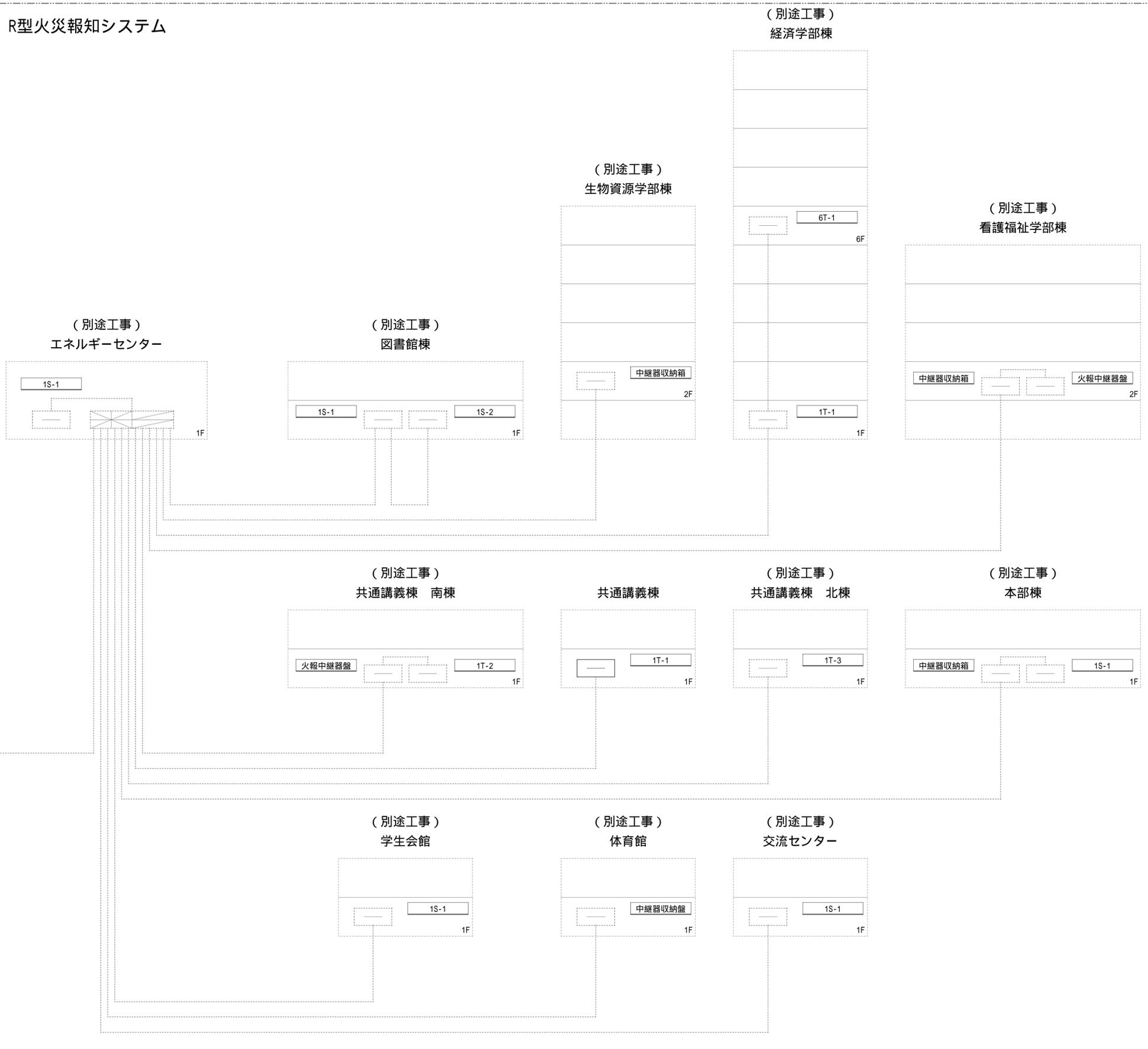


凡例

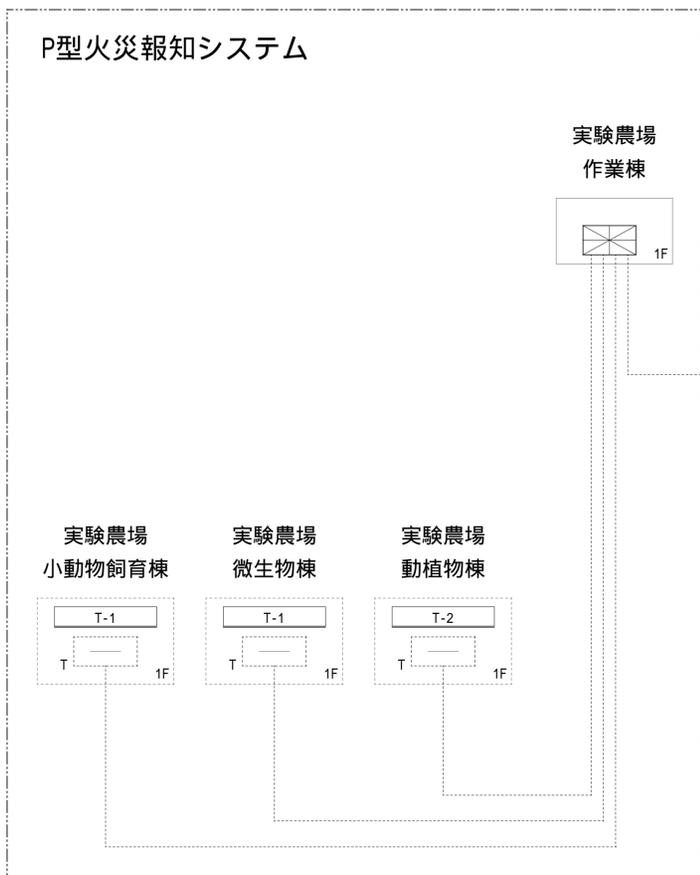
記号	名称・規格	
FAMP	非常放送アンプ	
⊙	スピーカー 天井埋込型	
∅	アッテネーター	
⊙(再)	スピーカー 天井埋込型	取外し再取付
□	端子盤	既設存置
⊙	スピーカー	"
∅	アッテネーター	"

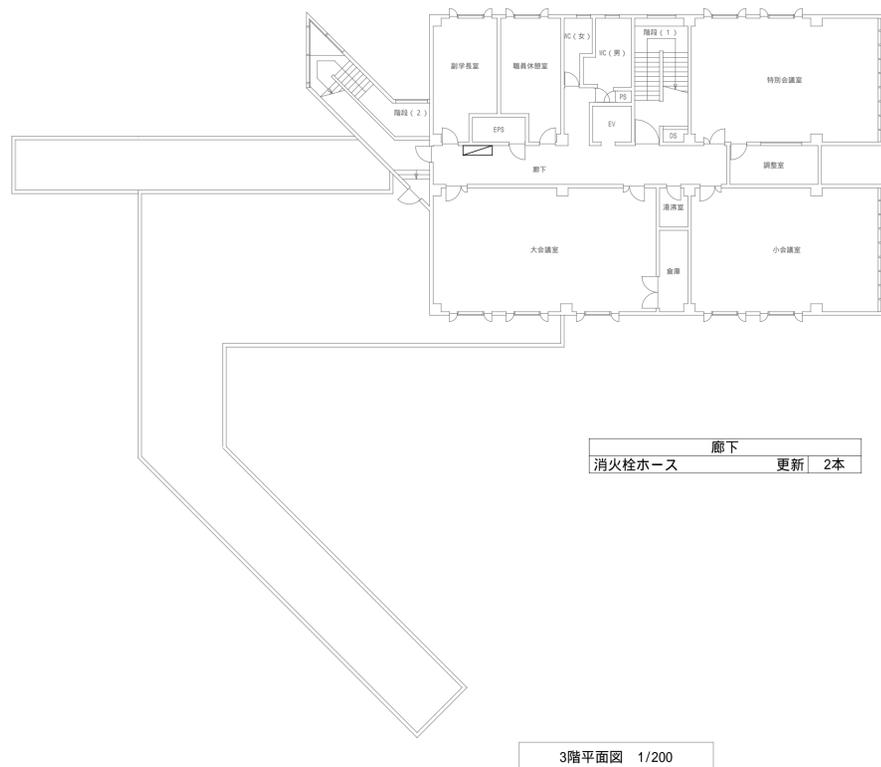
凡 例		
記 号	名 称 ・ 規 格	
	P型2級受信機	
	端子盤 (中継器収納)	
	R型複合火災受信機	既設存置
	端子盤	"
	端子盤 (中継器収納)	別途工事

R型火災報知システム



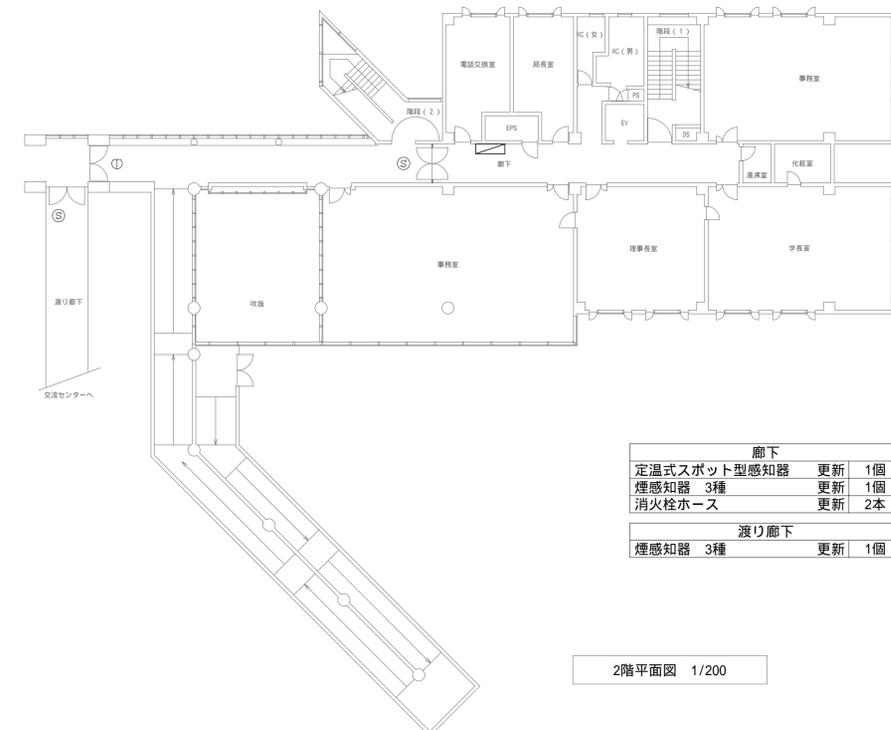
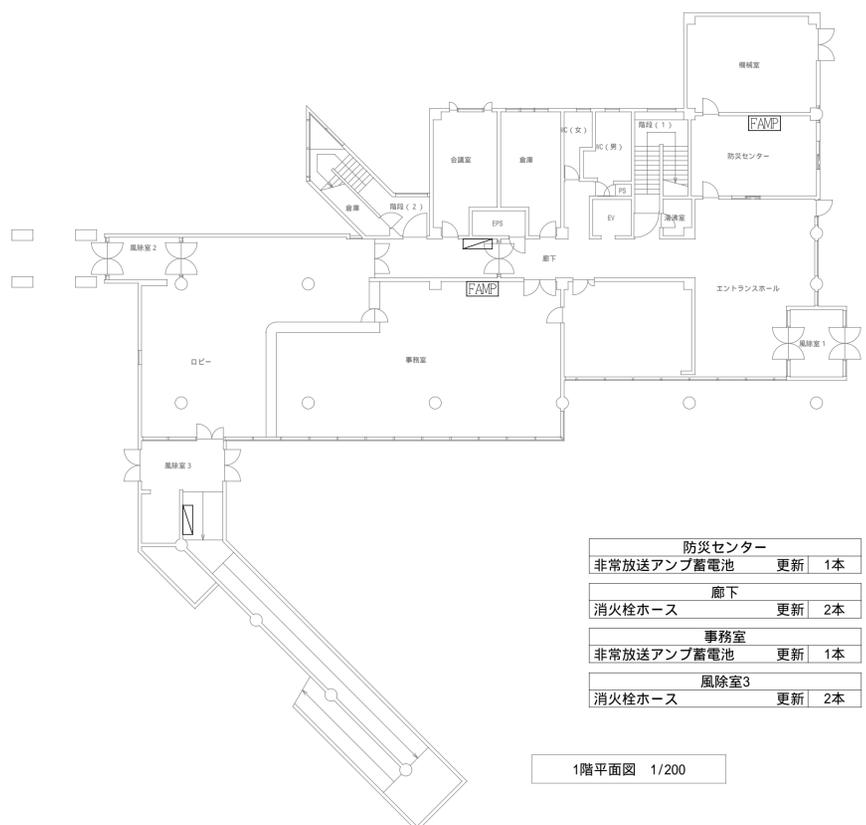
P型火災報知システム

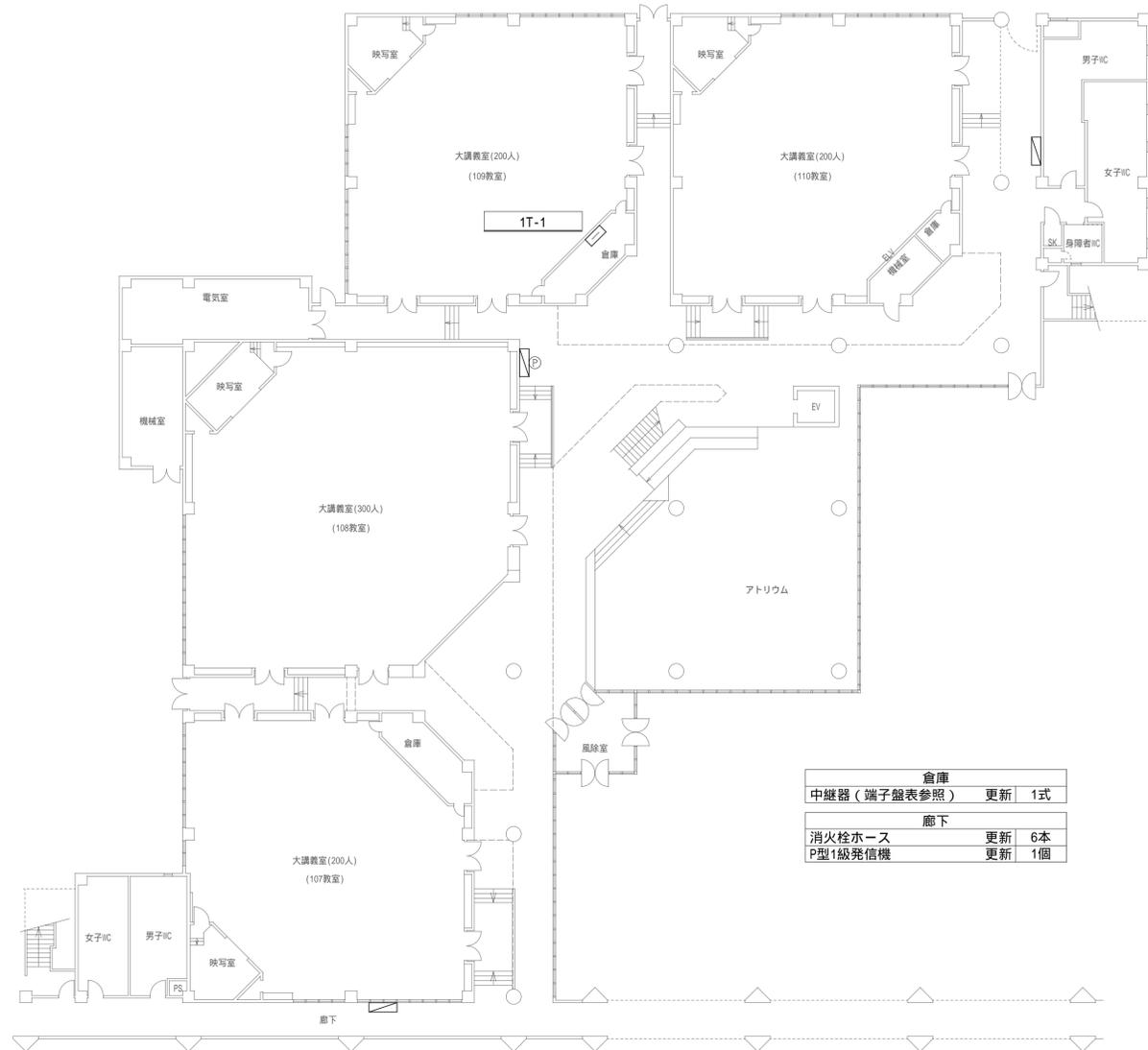




凡例		
記号	名称・規格	更新内容
[FAMP]	非常放送アンブ	非常電源ユニット内蓄電池更新 更新前：ニッケルカドミウム蓄電池 3500mAh × 1本 更新後：ニッケル水素蓄電池 4000mAh × 1本
㊦	煙感知器 3種 露出型	感知器 更新
㊧	定温式スポット型感知器 1種 防水型	感知器 更新
㊨	屋内消火栓	消火栓ホース 2本 更新

- 注記
1. 改修工事において、改修に関りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。





倉庫	
中継器 (端子盤表参照)	更新 1式
廊下	
消火栓ホース	更新 6本
P型1級発信機	更新 1個

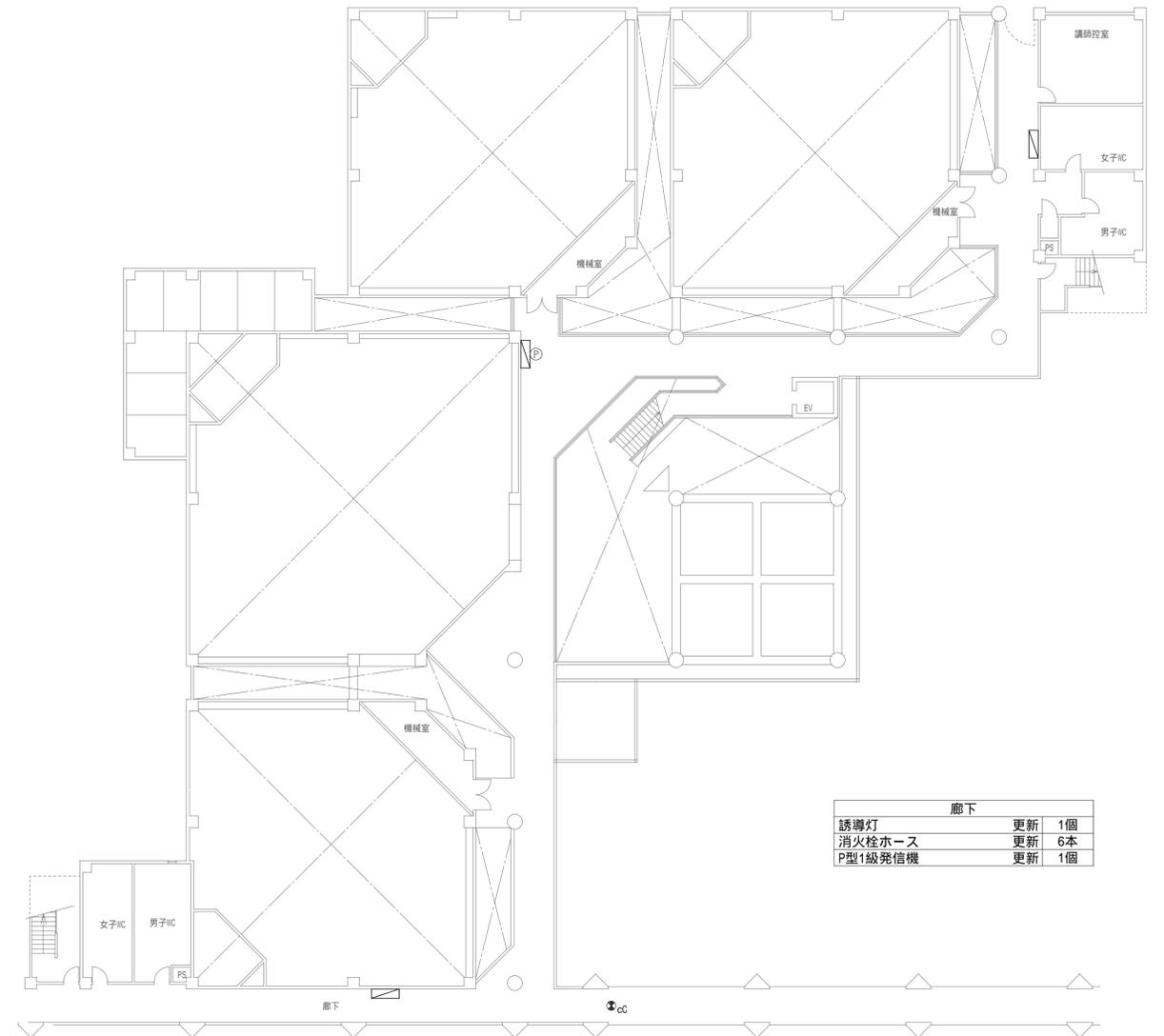
1階平面図 1/200

端子盤表 (改修前)

盤名称	盤寸法	収納機器	台数	参考型番
1S-1	火報機器スペース: W685 x H675	耐雷用保安器	8台	SN-NM
		幹線アダプタ	1台	PC-687
		幹線中継器	1台	ADP-
		火報 1回線中継器	14台	1LRE-
		ベル 1回線中継器	1台	LRBC2
		防排煙 3回線中継器	2台	3LTA-

端子盤表 (改修後)

盤名称	盤寸法	収納機器	台数	参考型番
1S-1	火報機器スペース: W685 x H675	耐雷基盤	2台	
		幹線アダプタ	1台	
		火報中継器	4台	
		ベル中継器	1台	
		防排煙中継器	1台	



廊下	
誘導灯	更新 1個
消火栓ホース	更新 6本
P型1級発信機	更新 1個

2階平面図 1/200

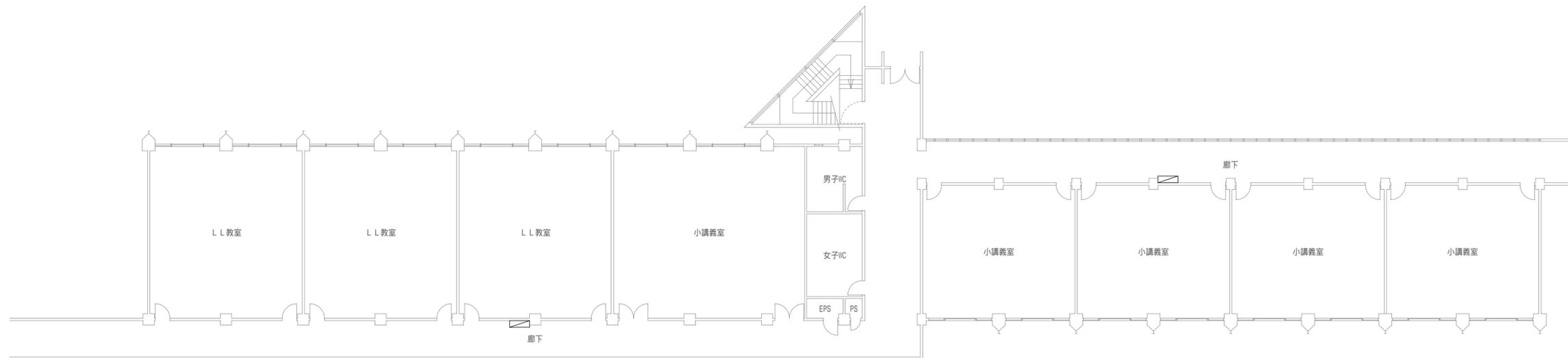
cC	LED避難口誘導灯	C級・片面用・天井付
型式認定番号: 1AS111-3618		蓄電池内蔵
リニューアルプレート (吊具) 共		
記号	仕様	公共型番 参考型番
cC		SH1-FSF20-C FA10312C LE1

凡例

記号	名称・規格	更新内容
➡	誘導灯	誘導灯更新 (姿図参照)
□	端子盤	中継機更新 (端子盤表参照)
⊕	P型1級発信機 (R型用) 埋込型	発信機 更新
▬	屋内消火栓	消火栓ホース 2本 更新

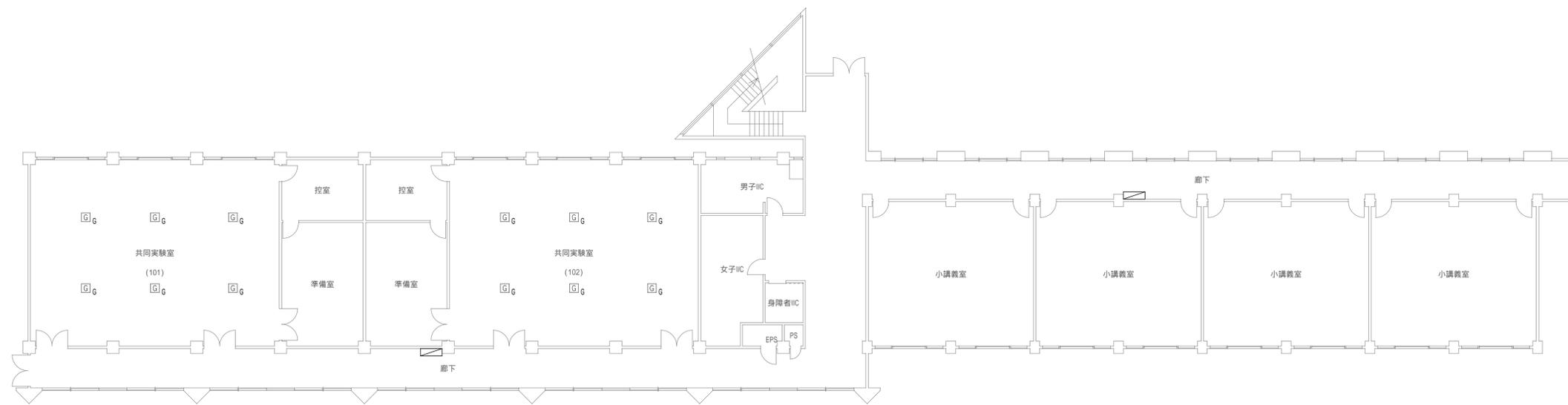
注記

- 改修工事において、改修に関りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
- 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
- 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。



廊下	消火栓ホース	更新	4本
----	--------	----	----

2階平面図 1/150

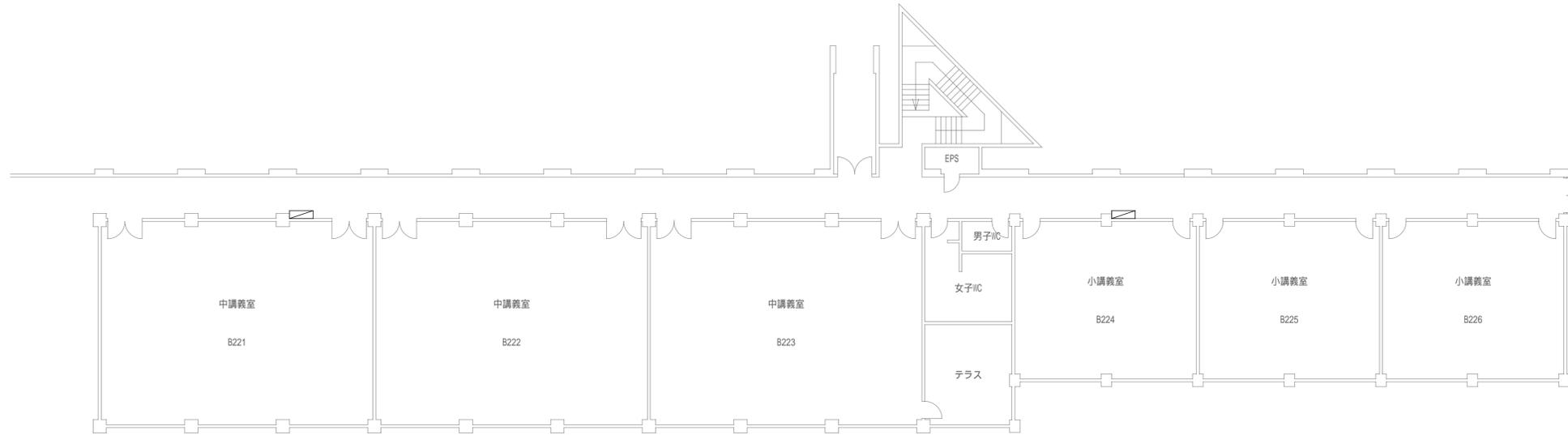


共同実験室 101	ガス検知器	ガード付	更新	6個
共同実験室 102	ガス検知器	ガード付	更新	6個
廊下	消火栓ホース	更新	4本	

1階平面図 1/150

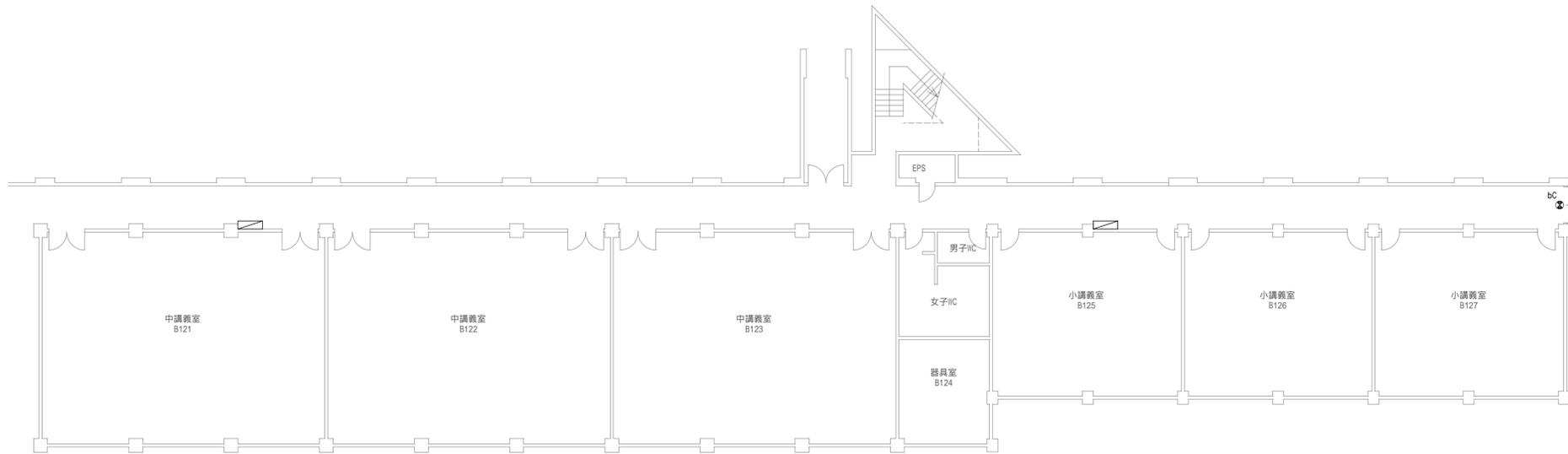
凡例				
記号	名称・規格	更新内容		
Ⓜ	ガス検知器 LPガス用 24V ガード付	検知器	更新	
		ガード	既設品取外し再取付	
◻	屋内消火栓	消火栓ホース	2本	更新

- 注記
1. 改修工事において、改修に関りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。



2階平面図 1/150

廊下			
消火栓ホース	更新	4本	



1階平面図 1/150

廊下			
誘導灯	更新	1個	
消火栓ホース	更新	4本	

bC	LED避難口誘導灯	C級・片面用・壁付	
型式認定番号: 1AS111-3618		蓄電池内蔵	
リニューアブルプレート(壁直付用)共			
			
記号	仕様	公共型番	参考型番
bC		SH1-FBF20-C	FA10312C LE1

凡例		
記号	名称・規格	更新内容
➡	誘導灯	誘導灯更新(盗回参照)
▭	屋内消火栓	消火栓ホース 2本 更新

注記

1. 改修工事において、改修に関りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。



bC	LED避難口誘導灯	C級・片面用・壁付	
型式認定番号: 1AS111-3618		蓄電池内蔵	
リニューアルプレート (壁直付用) 共			
			
記号	仕様	公共型番	参考型番
bC		SH1-FBF20-C	FA10312C LE1
dC	LED通路誘導灯	C級・片面用・天井付	
型式認定番号: 1AS111-3618		蓄電池内蔵	
リニューアルプレート (吊具) 共			
			
記号	仕様	公共型番	参考型番
dC		SH1-FSF20-C	FA10312C LE1

記号	名称・規格	更新内容
☉	誘導灯	誘導灯更新 (盗図参照)
⊙	スピーカー 天井埋込型	スピーカー新設
⊘	アッテネーター	アッテネーター新設
(再)⊙	スピーカー 天井埋込型	既設スピーカー取外し再取付
⊖	差動式スポット型感知器 2種 露出型	感知器 更新
☒	屋内消火栓	消火栓ホース 2本 更新
⊘	端子盤	既設存置
☉	スピーカー 天井埋込型	既設存置
⊘	アッテネーター	既設存置

- 注記**
1. 図中、特記なき配管・配線は下記による。
 EM-HP1.2-3C 配管部 (MMA)
 天井隠ぺい配線 (新設) を示す。
 金属線ひ配線 (新設) を示す。
 既設存置配線を示す。
 2. 改修工事において、改修に関りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 3. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 4. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。

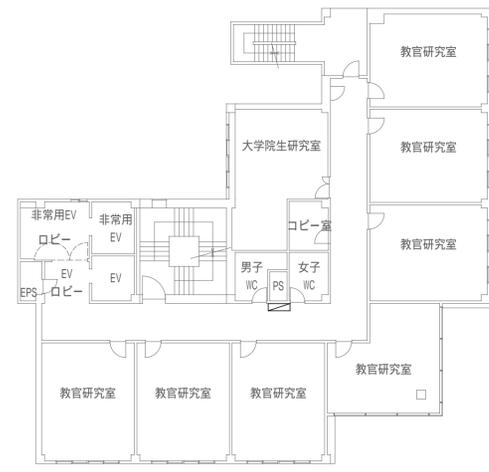
1階平面図 1/200

2階平面図 1/200



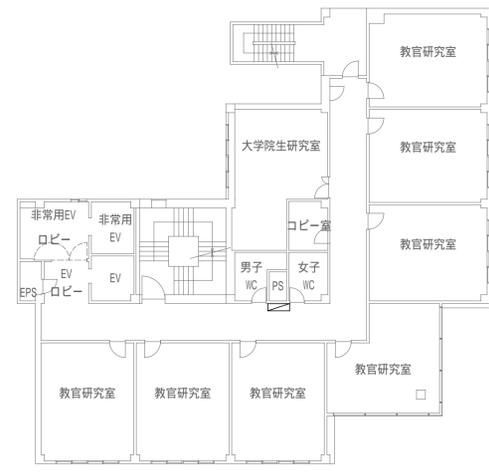
2階平面図 1/200

廊下		
誘導灯	更新	1個
消火栓ホース	更新	2本



4階平面図 1/200

廊下		
消火栓ホース	更新	2本



6階平面図 1/200

廊下		
消火栓ホース	更新	2本



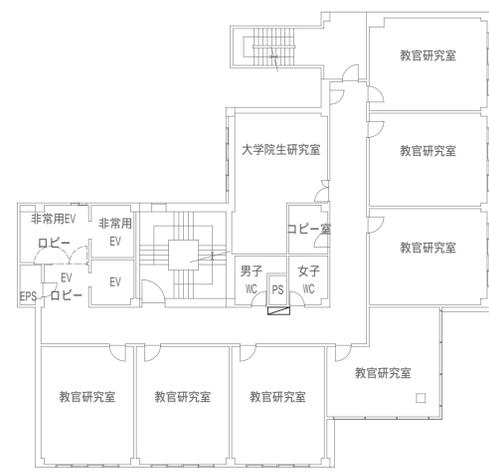
1階平面図 1/200

廊下		
誘導灯	更新	1個
消火栓ホース	更新	2本



3階平面図 1/200

廊下		
消火栓ホース	更新	2本



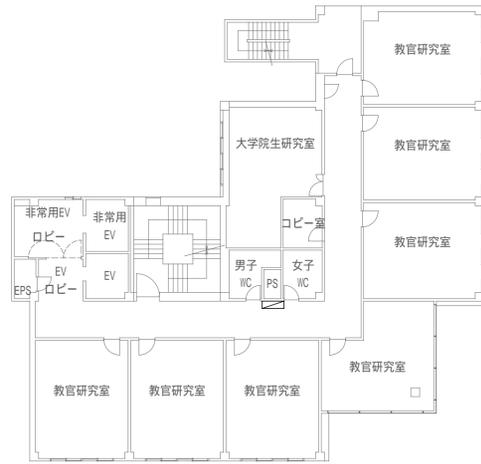
5階平面図 1/200

廊下		
消火栓ホース	更新	2本

aC	LED避難口誘導灯	C級・片面用・天井付
型式認定番号: 1AS111-3618		蓄電池内蔵
リニューアルプレート(天井用)共		
記号	仕様	公共型番 参考型番
aC		SH1-FSF20-C FA10312C LE1
bC	LED避難口誘導灯	C級・片面用・壁付
型式認定番号: 1AS111-3618		蓄電池内蔵
リニューアルプレート(壁直付用)共		
記号	仕様	公共型番 参考型番
bC		SH1-FBF20-C FA10312C LE1

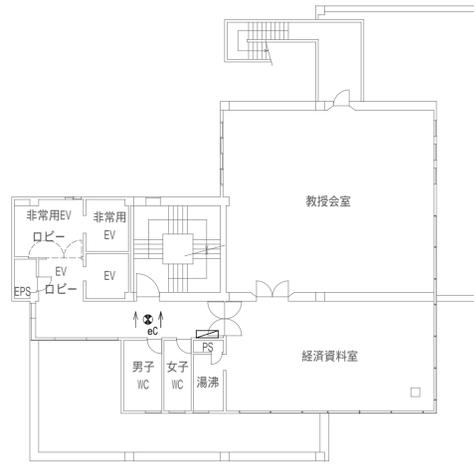
凡例			
記号	名称・規格	更新内容	
☞	誘導灯	誘導灯更新(姿図参照)	
☞	屋内消火栓	消火栓ホース 2本 更新	

- 注記
- 改修工事において、改修に開りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 - 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 - 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。



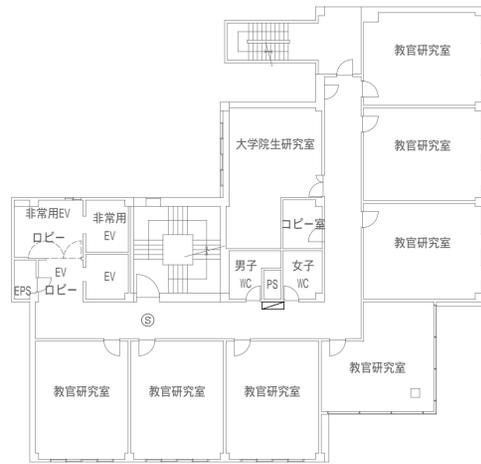
8階平面図 1/200

廊下		
消火栓ホース	更新	2本



10階平面図 1/200

廊下		
誘導灯	更新	1個
消火栓ホース	更新	2本



7階平面図 1/200

廊下		
煙感知器 3種	更新	1個
消火栓ホース	更新	2本



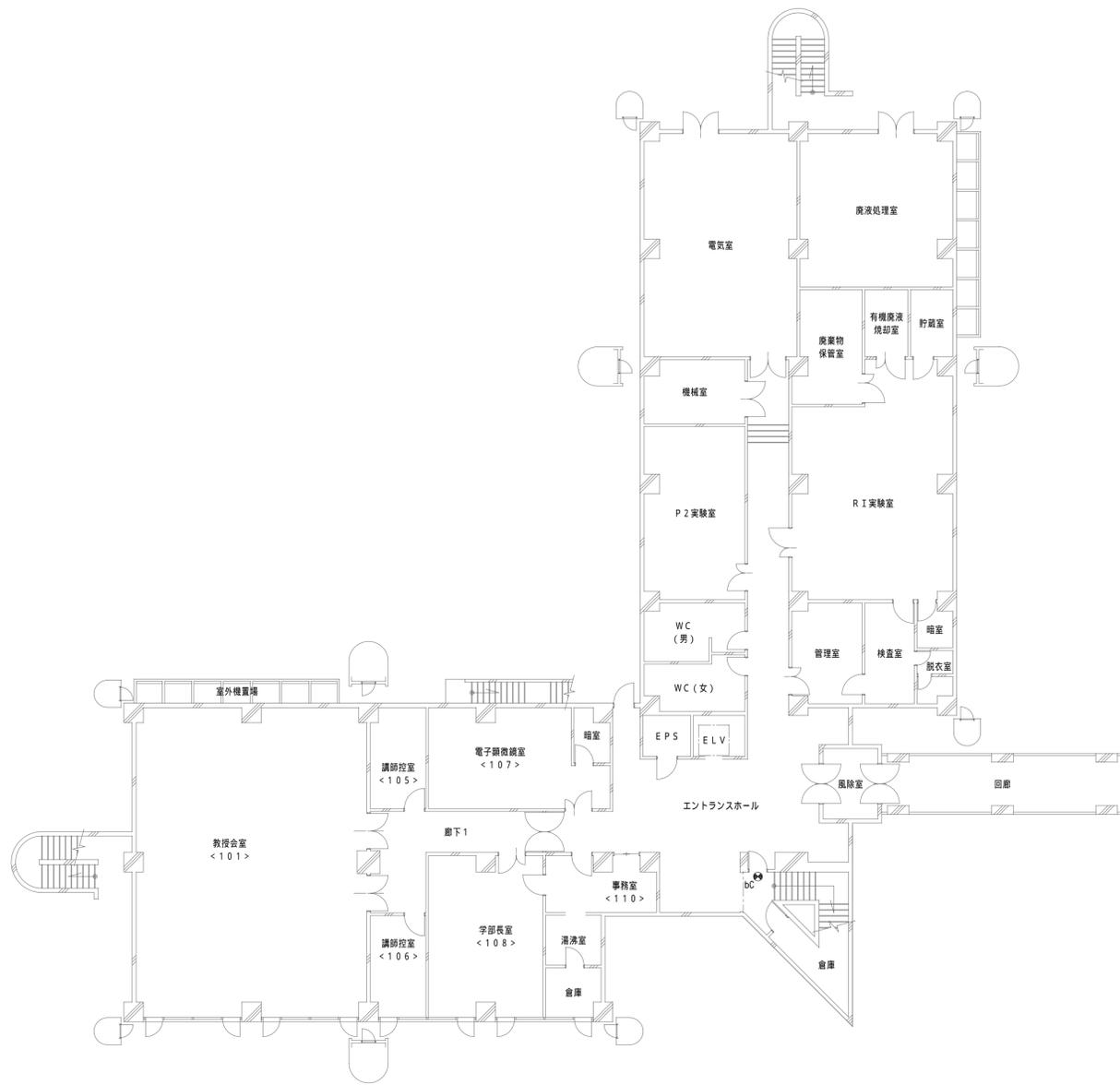
9階平面図 1/200

廊下		
誘導灯	更新	1個
消火栓ホース	更新	2本

aC	LED避難口誘導灯	C級・片面用・天井付	
型式認定番号：1AS111-3618		蓄電池内蔵	
リニューアルプレート（天井用）共			
記号	仕様	公共型番	参考型番
aC		SH1-FSF20-C	FA10312C LE1
eC	LED避難口誘導灯	C級・両面用・天井付	
型式認定番号：1AS221-3208		蓄電池内蔵	
リニューアルプレート（天井用）共			
記号	仕様	公共型番	参考型番
eC		SH1-FSF21-C	FA10322C LE1

凡例		
記号	名称・規格	更新内容
	誘導灯	誘導灯更新（姿図参照）
	煙感知器 3種 露出型	感知器 更新
	屋内消火栓	消火栓ホース 2本 更新

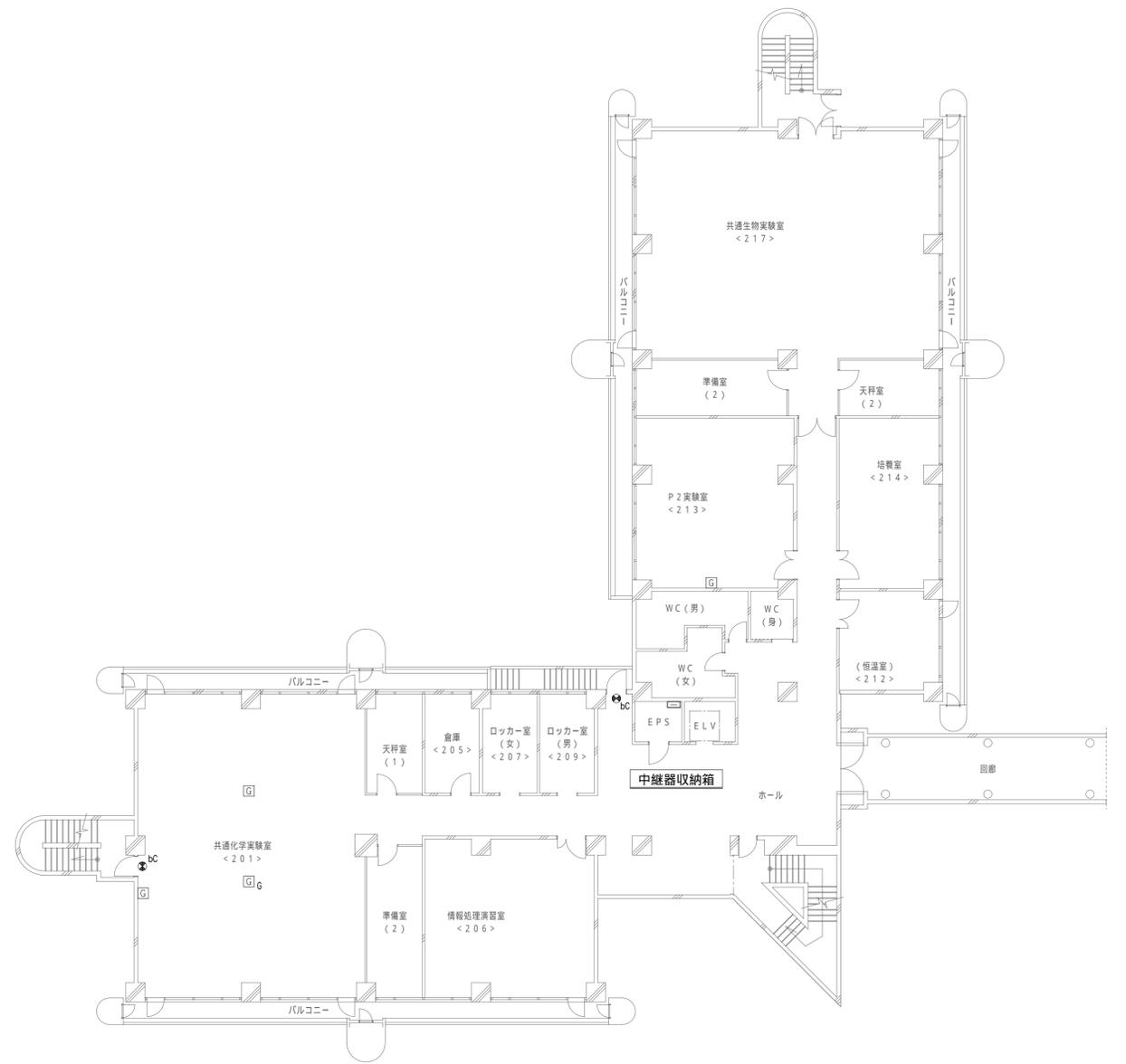
- 注記**
- 改修工事において、改修に關りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 - 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 - 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。



階段室	誘導灯	更新	1台
-----	-----	----	----

1階平面図 1/150

bC	LED避難口誘導灯	C級・片面用・壁付	
型式認定番号：1AS111-3618		蓄電池内蔵	
リニューアルプレート（壁直付用）共			
記号	仕様	公共型番	参考型番
bC		SH1-FBF20-C	FA10312C LE1

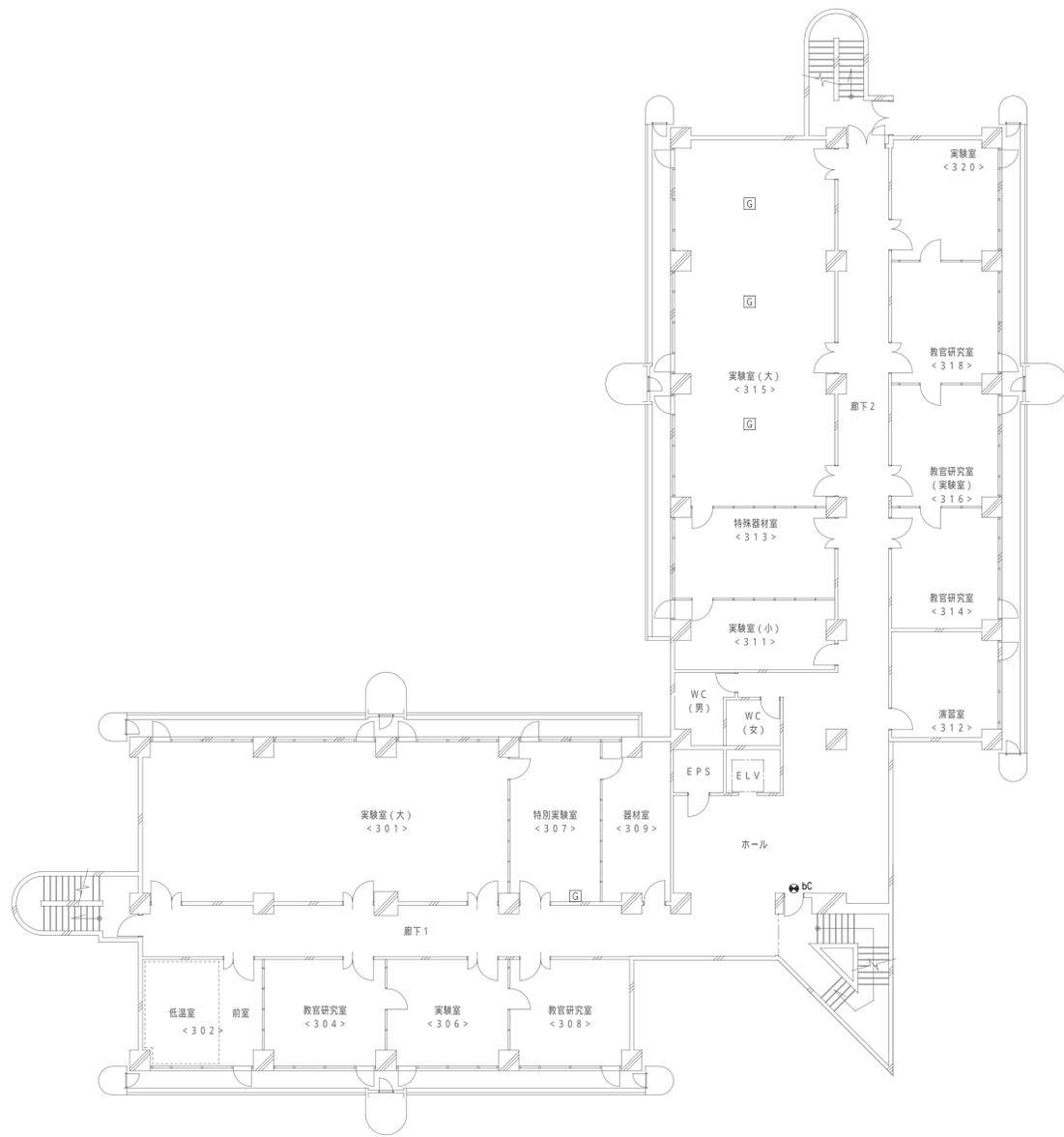


P2実験室 213	ガス検知器	更新	1個	
EPS	中継器用蓄電池	更新	1台	
廊下	誘導灯	更新	1個	
共通化学実験室 201	誘導灯	更新	1個	
	ガス検知器	更新	2個	
	ガス検知器	ガード付	更新	1個

2階平面図 1/150

凡例			
記号	名称・規格	更新内容	
☉	誘導灯	誘導灯更新（姿図参照）	
☐	中継器収納箱	2013年製蓄電池 1台更新 2019年製蓄電池 1台既設存置 中継器類更新（別途工事）	
G	ガス検知器 LPガス用 24V	検知器	更新
G _G	ガス検知器 LPガス用 24V	検知器	更新 ガード 既設品取外し再取付

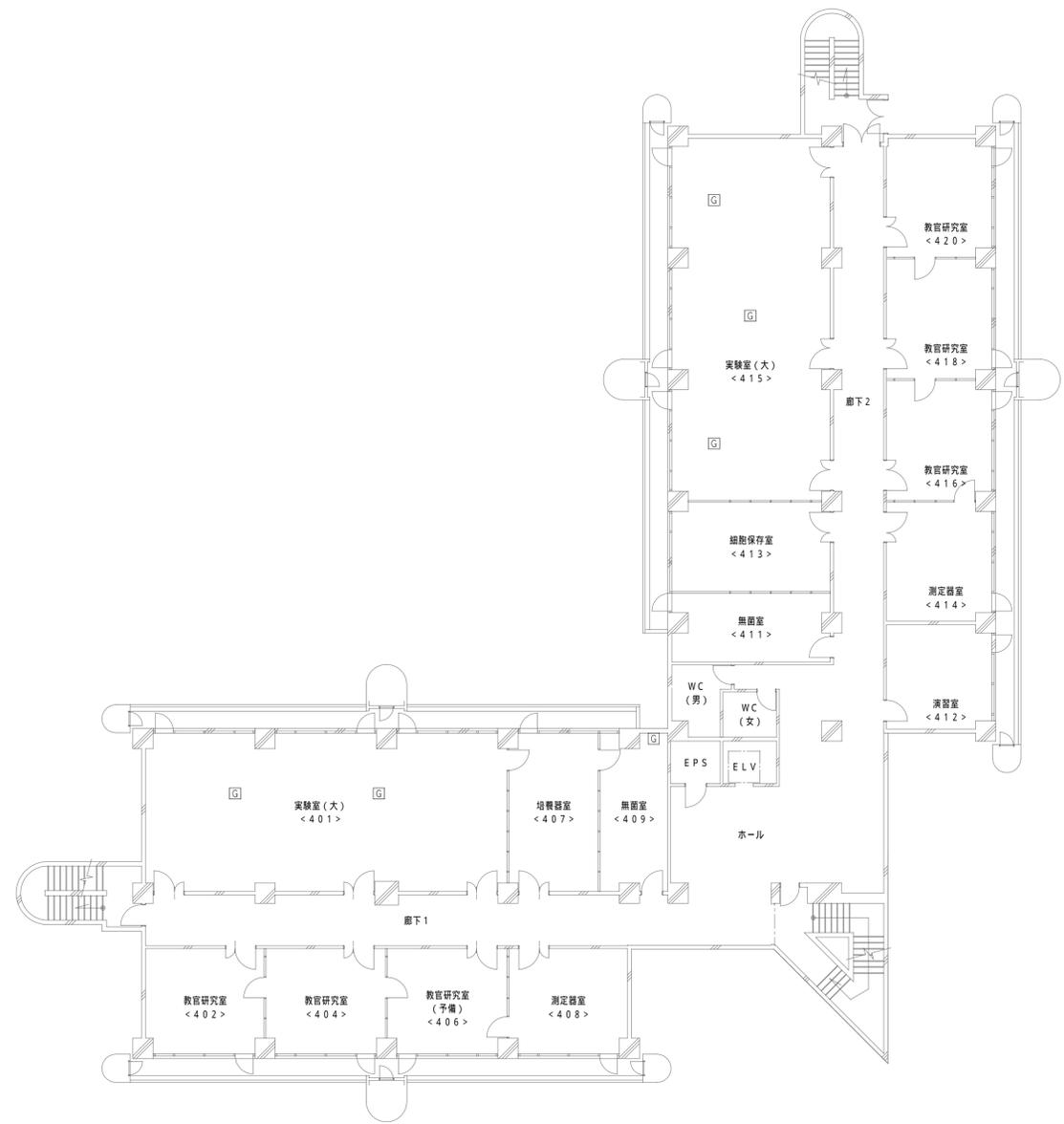
- 注記
1. 改修工事において、改修に關りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。



実験室(大) 315
ガス検知器 更新 3個
ホール
誘導灯 更新 1個
特別実験室 307
ガス検知器 更新 1個

3階平面図 1/150

bC	LED避難口誘導灯	C級・片面用・壁付	
	型式認定番号: 1AS111-3618	蓄電池内蔵	
リニューアブルプレート(壁直付用)共			
記号	仕様	公共型番	参考型番
bC		SH1-FBF20-C	FA10312C LE1

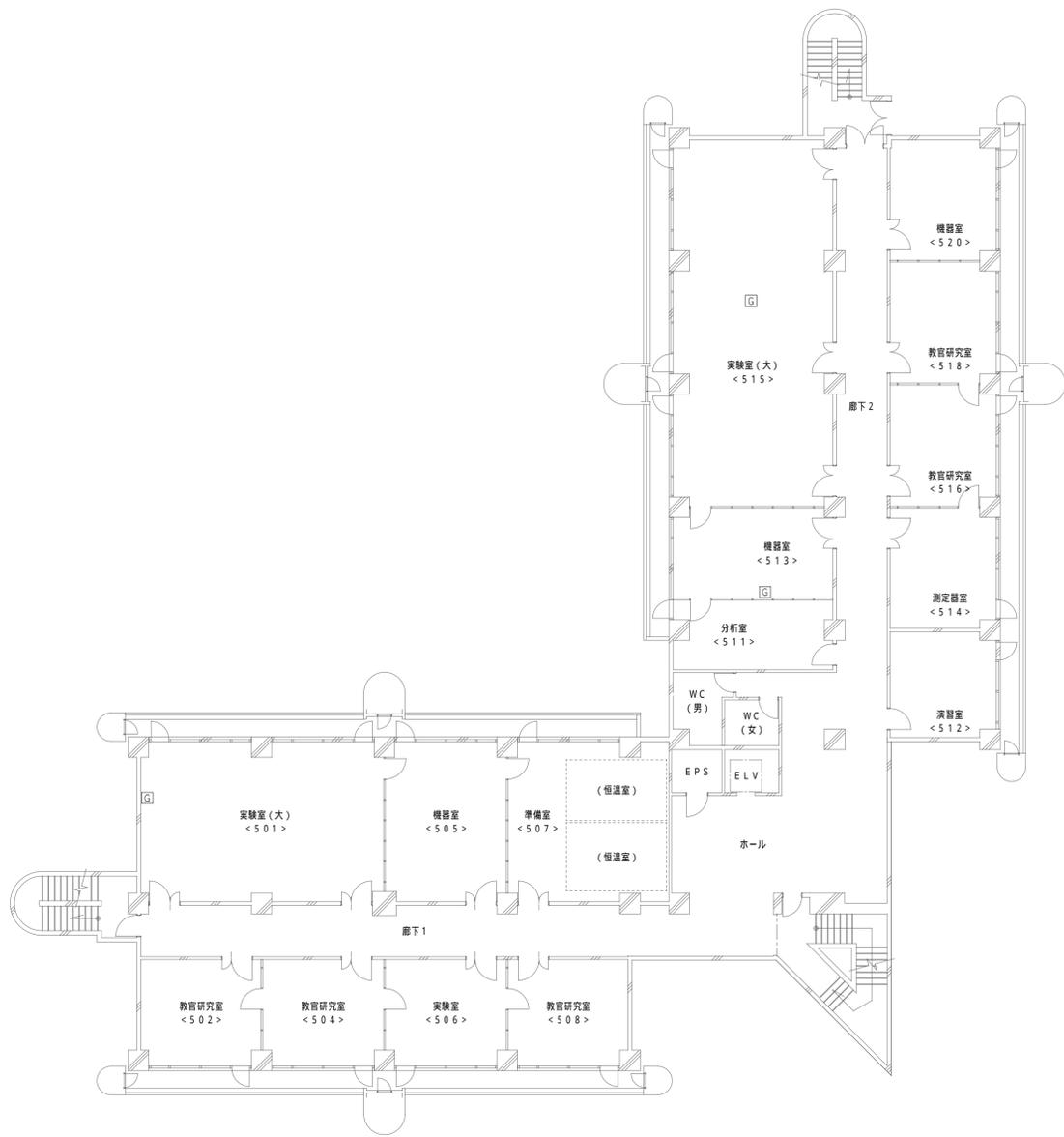


実験室(大) 415
ガス検知器 更新 3個
無菌室 409
ガス検知器 更新 1個
実験室(大) 401
ガス検知器 更新 2個

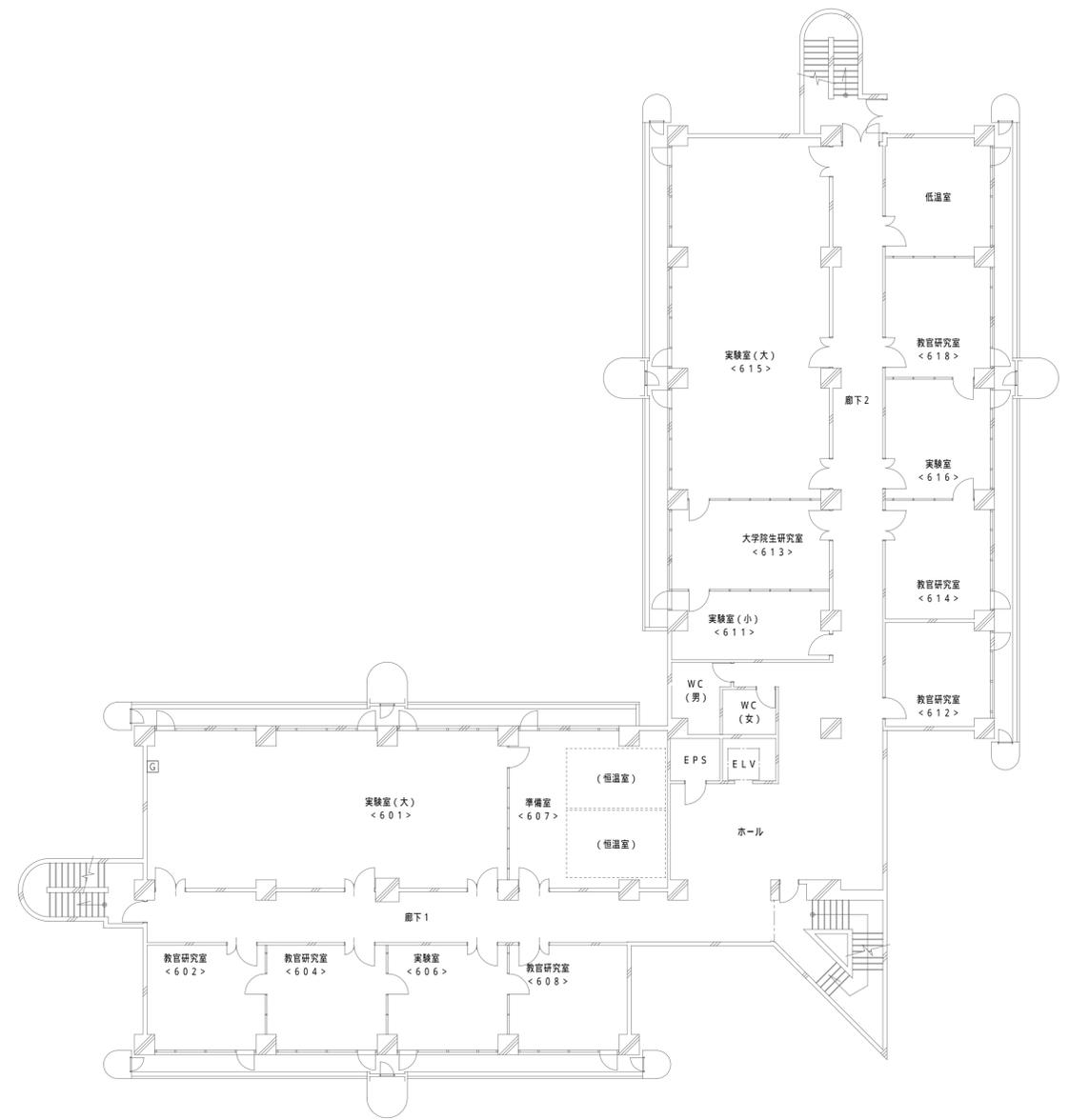
4階平面図 1/150

記号	名称・規格	更新内容
➡	誘導灯	誘導灯更新(盗図参照)
G	ガス検知器 LPガス用 24V	検知器 更新

- 注記
1. 改修工事において、改修に開りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。



実験室(大)	515	更新	1個
ガス検知器			
機器室	513	更新	1個
ガス検知器			
実験室(大)	501	更新	1個
ガス検知器			



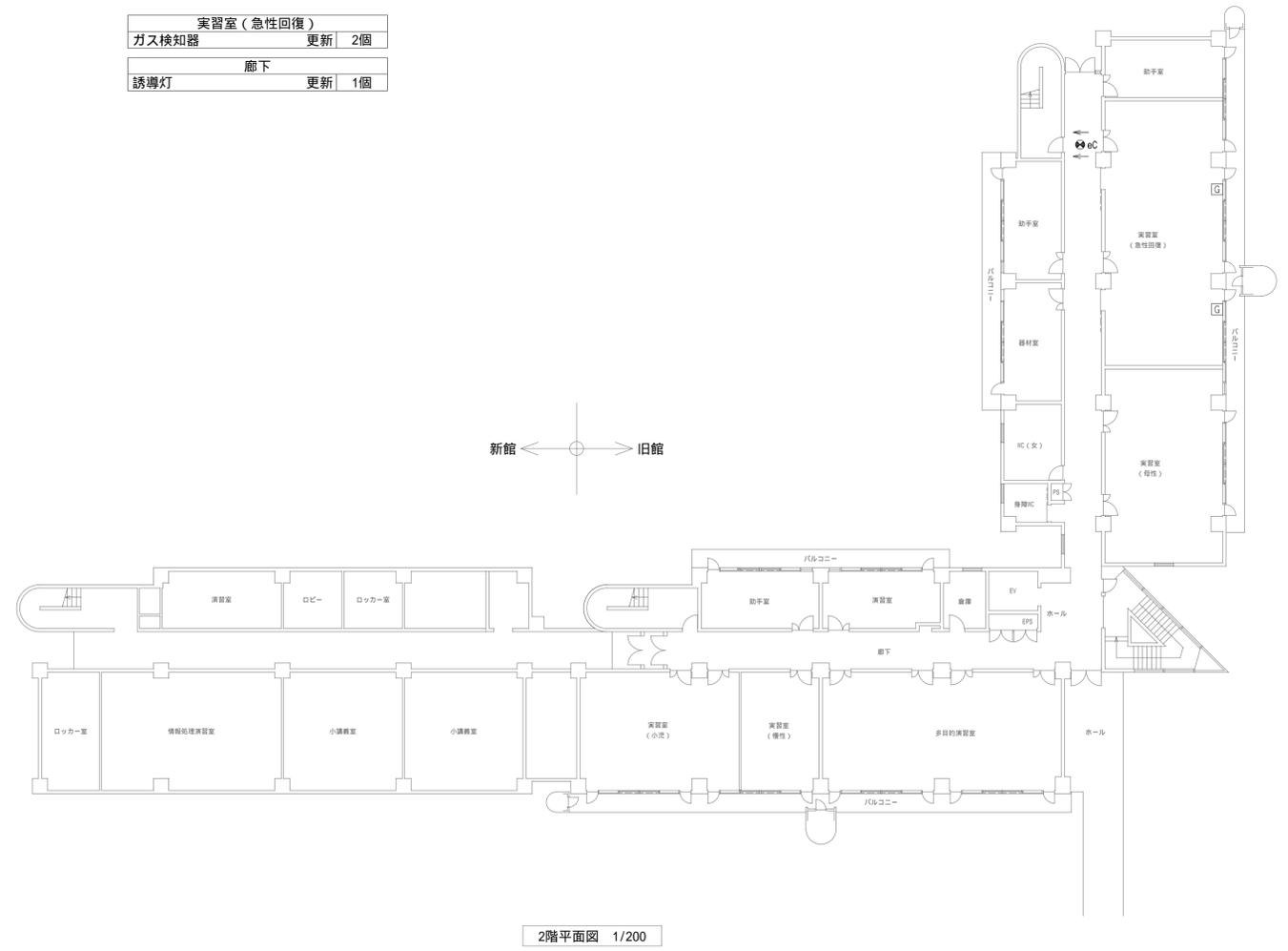
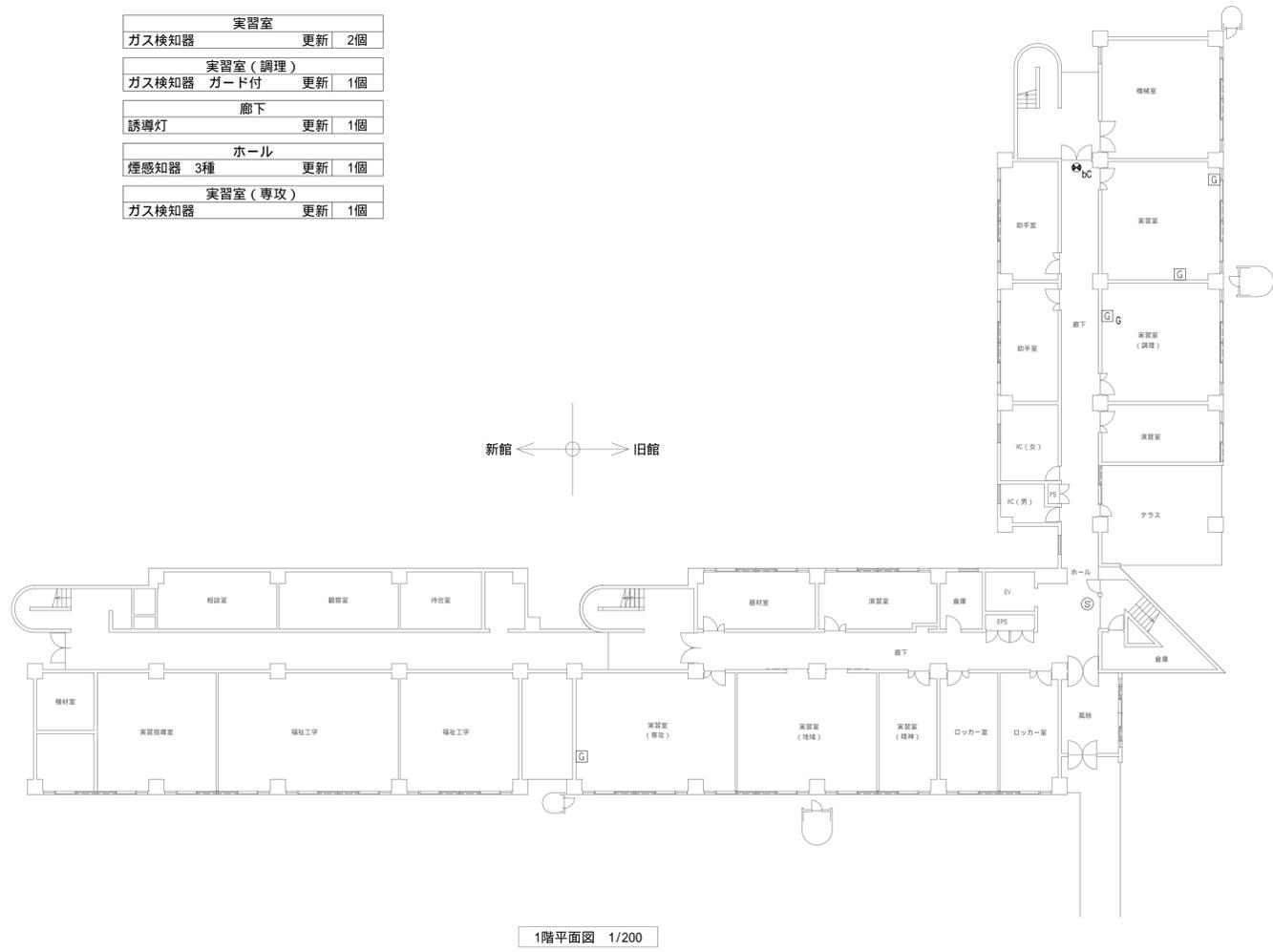
実験室(大)	601	更新	1個
ガス検知器			

記号	名称・規格	更新内容
G	ガス検知器 LPガス用 24V	検知器 更新

- 注記
1. 改修工事において、改修に開りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。

実習室			
ガス検知器	更新	2個	
実習室(調理)			
ガス検知器	ガード付	更新	1個
廊下			
誘導灯	更新	1個	
ホール			
煙感知器	3種	更新	1個
実習室(専攻)			
ガス検知器	更新	1個	

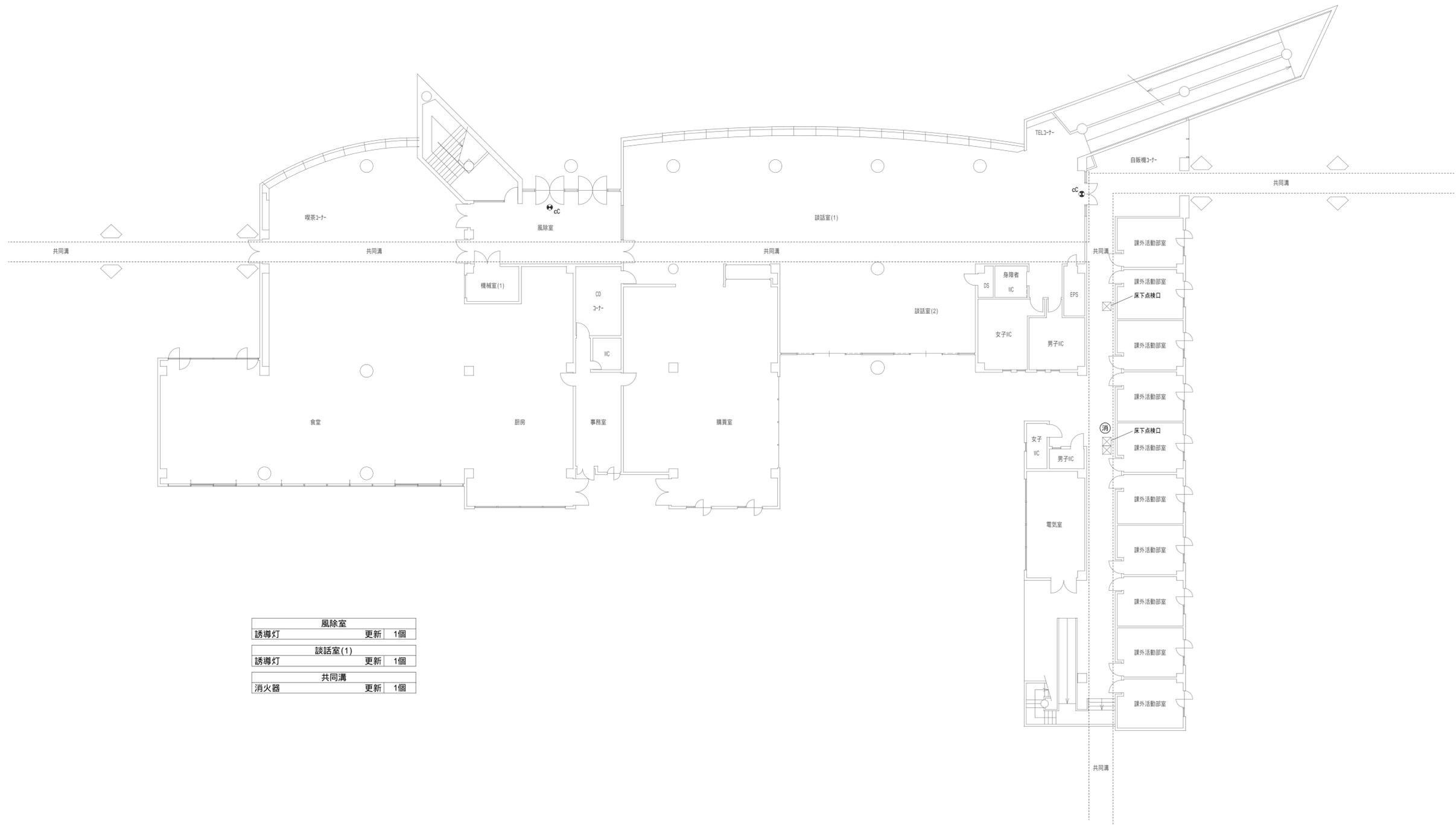
実習室(急性回復)			
ガス検知器	更新	2個	
廊下			
誘導灯	更新	1個	



bC	LED避難口誘導灯	C級・片面用・壁付	eC	LED避難口誘導灯	C級・両面用・天井付		
型式認定番号: 1AS111-3618			型式認定番号: 1AS221-3208				
蓄電池内蔵			蓄電池内蔵				
リニューアルプレート(壁直付用)共			リニューアルプレート(天井用)共				
記号	仕様	公共型番	参考型番	記号	仕様	公共型番	参考型番
bC		SH1-FBF20-C	FA10312C LE1	eC		SH1-FSF21-C	FA10322C LE1

凡例		
記号	名称・規格	更新内容
⊕	誘導灯	誘導灯更新(姿図参照)
⊙	煙感知器 3種 露出型	感知器 更新
G	ガス検知器 LPガス用 24V	検知器 更新
G G	ガス検知器 LPガス用 24V ガード付	検知器 更新
		ガード 既設品取外し再取付

- 注記
1. 改修工事において、改修に関りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。



風除室	
誘導灯	更新 1個
談話室(1)	
誘導灯	更新 1個
共同溝	
消火器	更新 1個

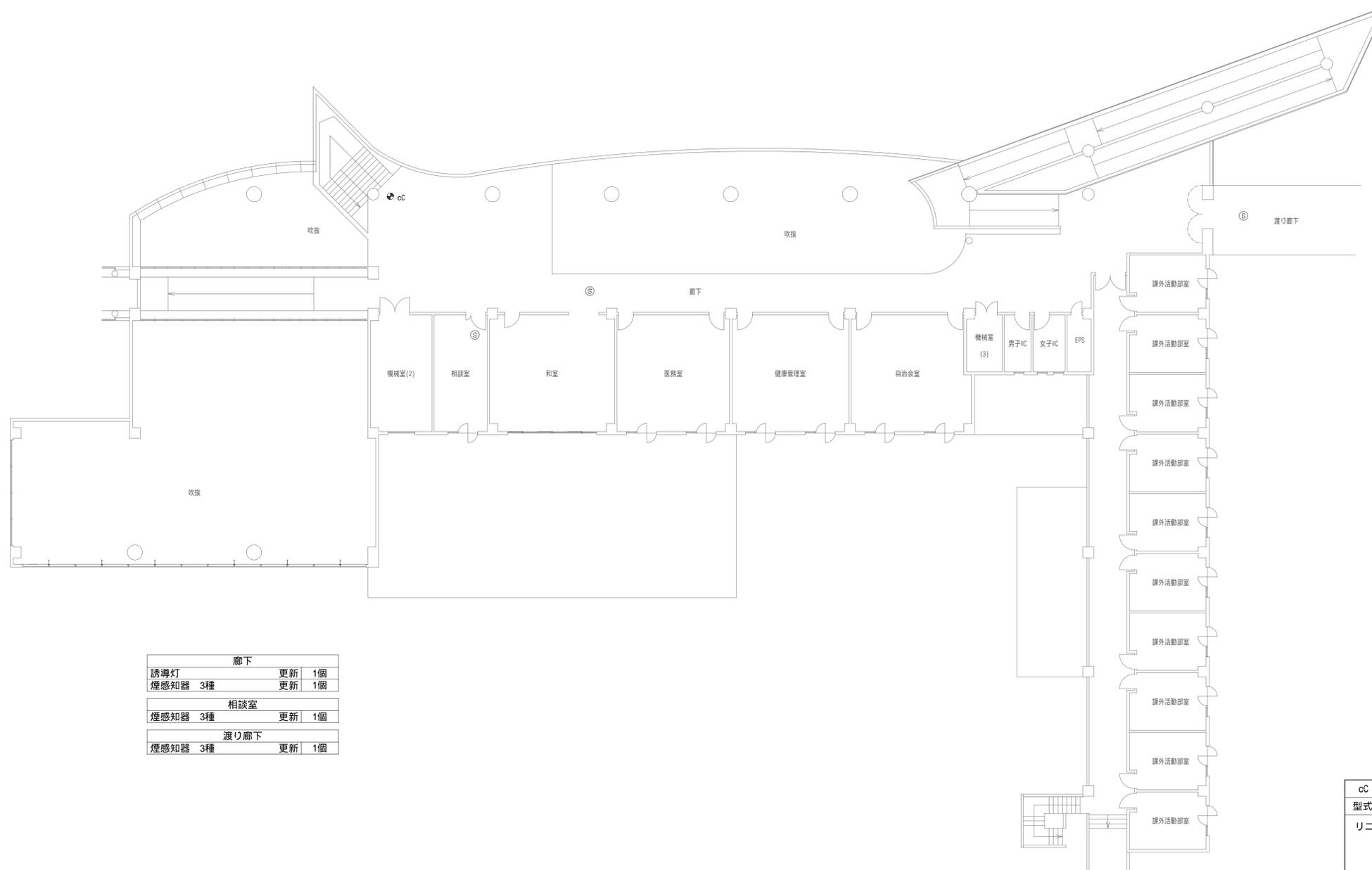
1階平面図 1/150

cC	LED避難口誘導灯	C級・片面用・天井付
型式認定番号：1AS111-3618		蓄電池内蔵
リニューアルプレート（吊具）共		
		
記号	仕様	公共型番 参考型番
cC		SH1-FSF20-C FA10312C LE1

記号	名称・規格	更新内容
☞	誘導灯	誘導灯更新（姿図参照）
(消)	ABC粉末消火器 蓄圧式 10型 SUS製	(共同溝内設置) 消火器 更新

注記

1. 改修工事において、改修に関りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。



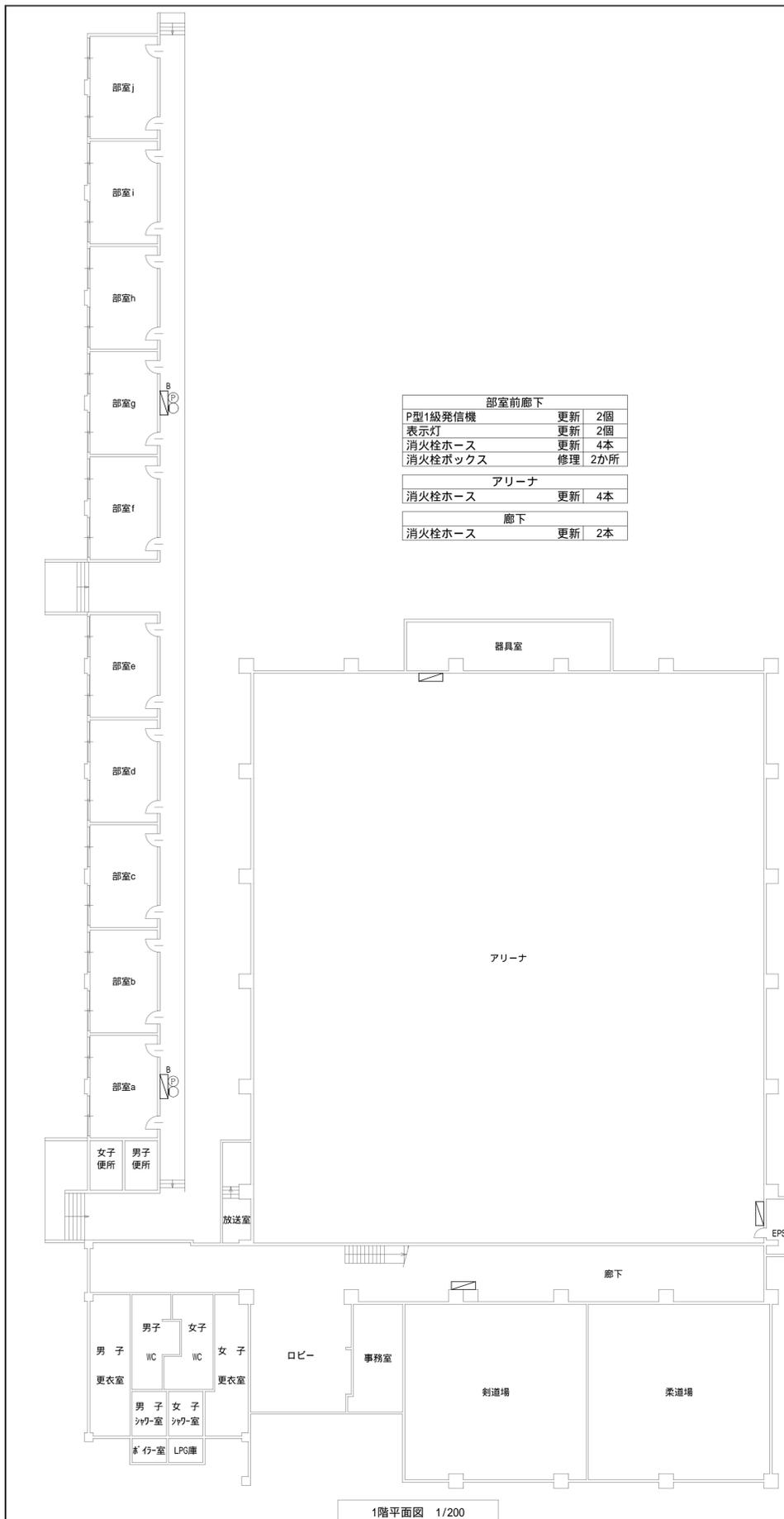
廊下			
誘導灯	更新	1個	
煙感知器	3種	更新	1個
相談室			
煙感知器	3種	更新	1個
渡り廊下			
煙感知器	3種	更新	1個

2階平面図 1/150

cC	LED避難口誘導灯	C級・片面用・天井付
型式認定番号：1AS111-3618		蓄電池内蔵
リニューアルプレート（吊具）共		
記号	仕様	公共型番 参考型番
cC		SH1-FSF20-C FA10312C LE1

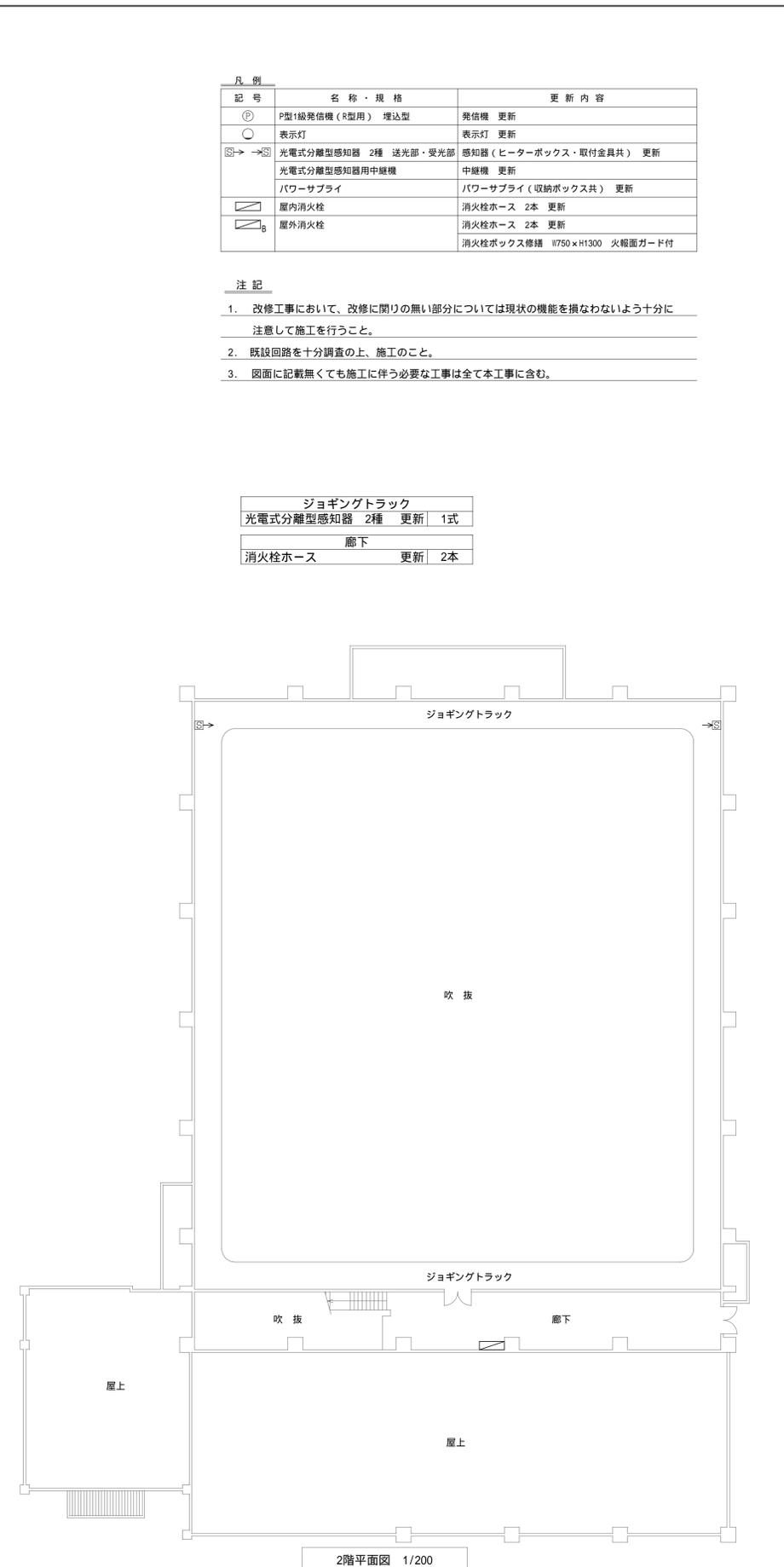
凡例		
記号	名称・規格	更新内容
➡	誘導灯	誘導灯更新（姿図参照）
㊤	煙感知器 3種 露出型	感知器 更新

- 注記**
1. 改修工事において、改修に関りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。



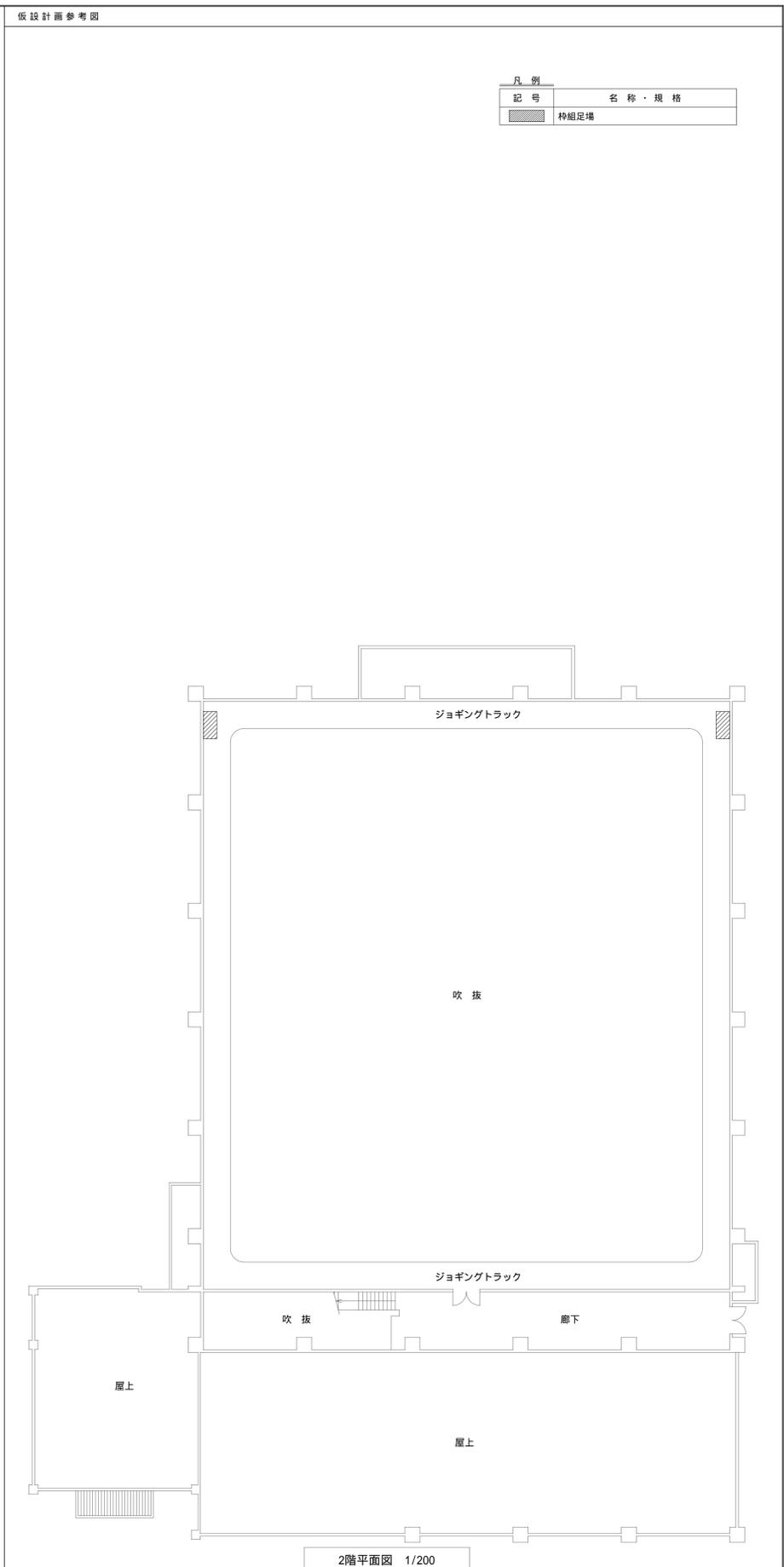
部室前廊下		
P型1級発信機	更新	2個
表示灯	更新	2個
消火栓ホース	更新	4本
消火栓ボックス	修理	2か所
アリーナ		
消火栓ホース	更新	4本
廊下		
消火栓ホース	更新	2本

1階平面図 1/200



ジョギングトラック		
光電式分離型感知器	2種	更新 1式
廊下		
消火栓ホース	更新	2本

2階平面図 1/200



2階平面図 1/200

記号	名称・規格	更新内容
Ⓟ	P型1級発信機 (R型用) 埋込型	発信機 更新
Ⓞ	表示灯	表示灯 更新
☞→	光電式分離型感知器 2種 送光部・受光部	感知器 (ヒーターボックス・取付金具共) 更新
	光電式分離型感知器用中継機	中継機 更新
	パワーサプライ	パワーサプライ (収納ボックス共) 更新
☐	屋内消火栓	消火栓ホース 2本 更新
☐	屋外消火栓	消火栓ホース 2本 更新
		消火栓ボックス修繕 W750×H1300 火報面ガード付

- 注 記
1. 改修工事において、改修に關りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。

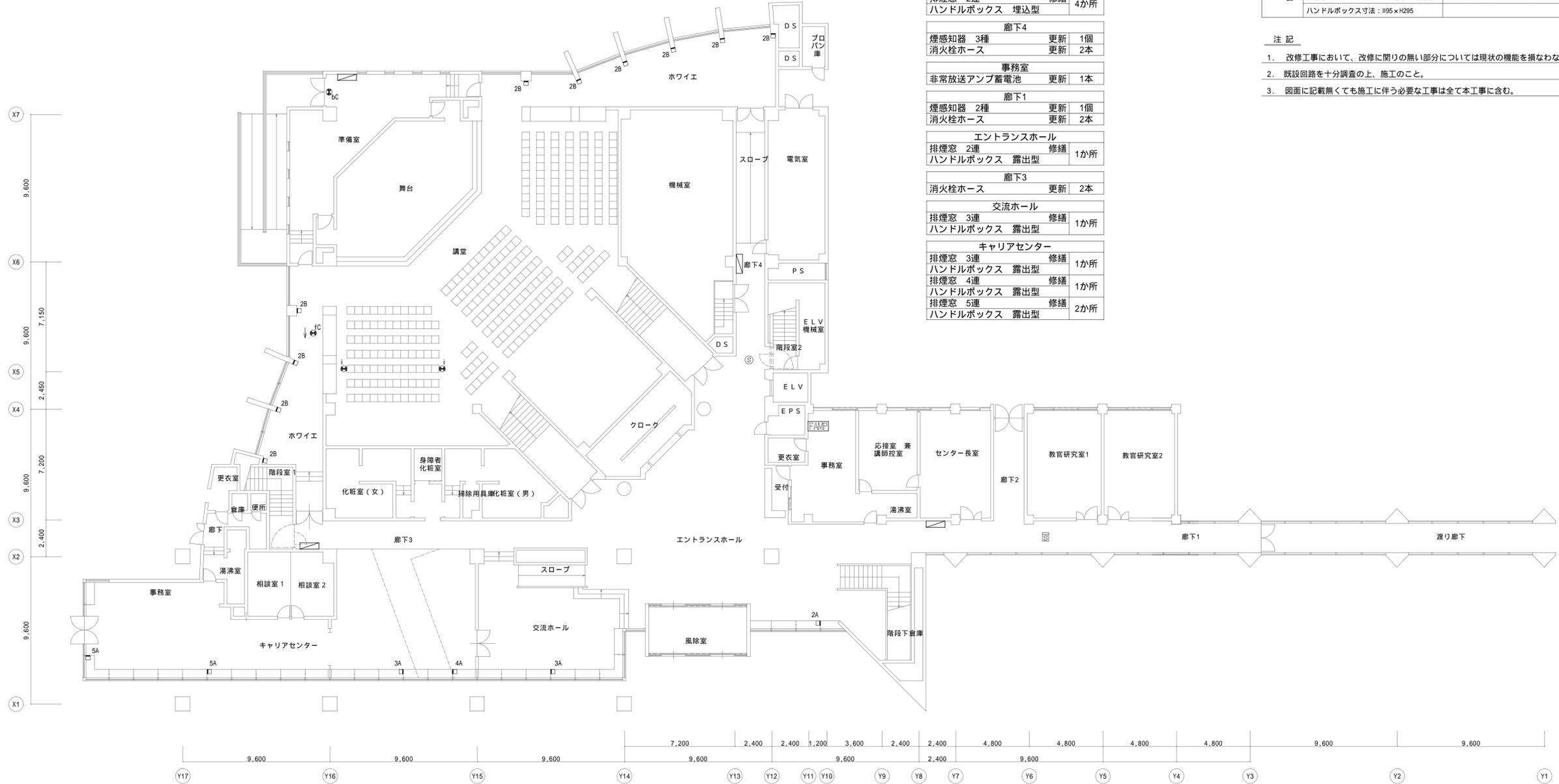
凡例	
記号	名称・規格
☐	枠組足場

bC	LED避難口誘導灯	C級・片面用・壁付	fc	LED通路誘導灯	C級・片面用・床埋込	i	LED客席誘導灯	壁付			
型式認定番号：1AS111-3618			型式認定番号：2AS123-1034			型式認定番号：FA01520J-LE1					
蓄電池内蔵			蓄電池内蔵			蓄電池内蔵					
リニューアブルプレート（壁直付用）共			リニューアブル対応型								
											
記号	仕様	公共型番	参考型番	記号	仕様	公共型番	参考型番	記号	仕様	公共型番	参考型番
bC		SH1-FBF20-C	FA10312C LE1	fc		-	FA10383C LE1	i		-	FA01520J LE1

凡例	記号	名称・規格	更新内容
	➡	誘導灯	誘導灯更新（姿図参照）
	FAMP	非常放送アンプ	非常電源ユニット内蓄電池更新 更新前：ニッケルカドミウム蓄電池 3500mAh x 1本 更新後：ニッケル水素蓄電池 4000mAh x 1本
	㊦	煙感知器 2種 露出型	感知器 更新
	㊧	煙感知器 3種 露出型	感知器 更新
	㊨	屋内消火栓	消火栓ホース 2本 更新
	㊩	排煙窓ハンドルボックス 2連窓 露出型	ハンドルボックス・ステイダンパー・特滑車・障子滑車・ワイヤーロープ 更新
	㊪	排煙窓ハンドルボックス 3連窓 露出型	ハンドルボックス・ステイダンパー・特滑車・障子滑車・ワイヤーロープ 更新
	㊫	排煙窓ハンドルボックス 4連窓 露出型	ハンドルボックス・ステイダンパー・特滑車・障子滑車・ワイヤーロープ 更新
	㊬	排煙窓ハンドルボックス 5連窓 露出型	ハンドルボックス・ステイダンパー・特滑車・障子滑車・ワイヤーロープ 更新
	㊭	排煙窓ハンドルボックス 2連窓 埋込型	ハンドルボックス・ステイダンパー・特滑車・障子滑車・ワイヤーロープ 更新
		ハンドルボックス寸法：W95 x H295	

- 注記
1. 改修工事において、改修に開りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。

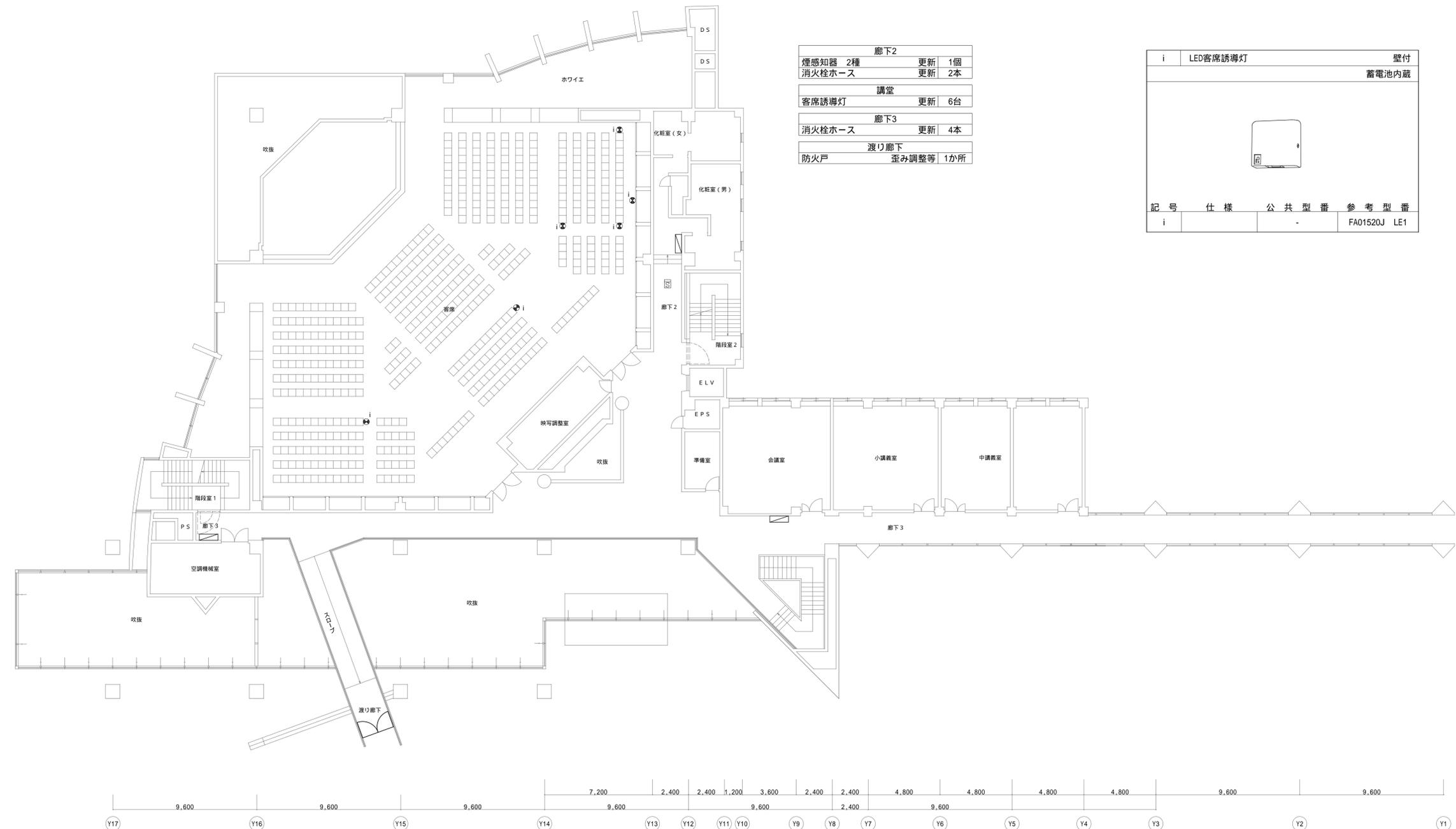
ホワイエ 西側	
排煙窓 2連	修繕 6か所
ハンドルボックス 埋込型	
準備室	
誘導灯	更新 1個
消火栓ホース	更新 2本
講堂	
客席誘導灯	更新 2個
ホワイエ 東側	
誘導灯	更新 1個
排煙窓 2連	修繕 4か所
ハンドルボックス 埋込型	
廊下4	
煙感知器 3種	更新 1個
消火栓ホース	更新 2本
事務室	
非常放送アンプ蓄電池	更新 1本
廊下1	
煙感知器 2種	更新 1個
消火栓ホース	更新 2本
エントランスホール	
排煙窓 2連	修繕 1か所
ハンドルボックス 露出型	
廊下3	
消火栓ホース	更新 2本
交流ホール	
排煙窓 3連	修繕 1か所
ハンドルボックス 露出型	
キャリアセンター	
排煙窓 3連	修繕 1か所
ハンドルボックス 露出型	
排煙窓 4連	修繕 1か所
ハンドルボックス 露出型	
排煙窓 5連	修繕 2か所
ハンドルボックス 露出型	



1階平面図 1/200

凡例		
記号	名称・規格	更新内容
☞	誘導灯	誘導灯更新(姿図参照)
☒	煙感知器 2種 露出型	感知器 更新
☒	屋内消火栓	消火栓ホース 2本 更新
☒	防火戸	全開しない為、全開の為の重み調整等

- 注記
1. 改修工事において、改修に關りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。



廊下2		
煙感知器 2種	更新	1個
消火栓ホース	更新	2本
講堂		
客席誘導灯	更新	6台
廊下3		
消火栓ホース	更新	4本
渡り廊下		
防火戸	歪み調整等	1か所

i LED客席誘導灯		壁付 蓄電池内蔵	
記号	仕様	公共型番	参考型番
i		-	FA01520J LE1

2階平面図 1/200

凡例		
記号	名称・規格	更新内容
☞	誘導灯	誘導灯更新(姿図参照)
□	屋内消火栓	消火栓ホース 2本 更新

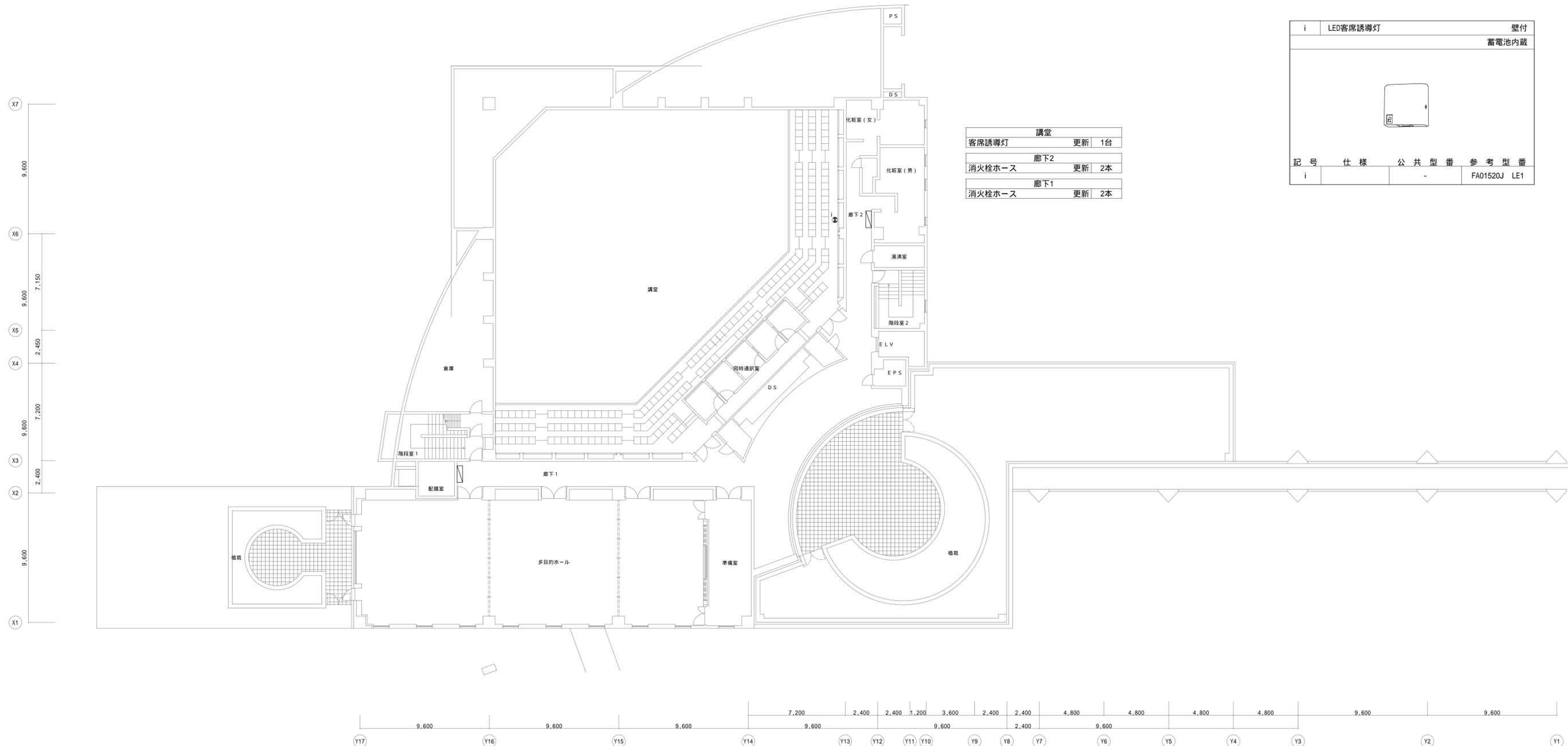
- 注記
1. 改修工事において、改修に關りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。

記号	仕様	公共型番	参考型番
i	LED客席誘導灯	-	FA01520J LE1

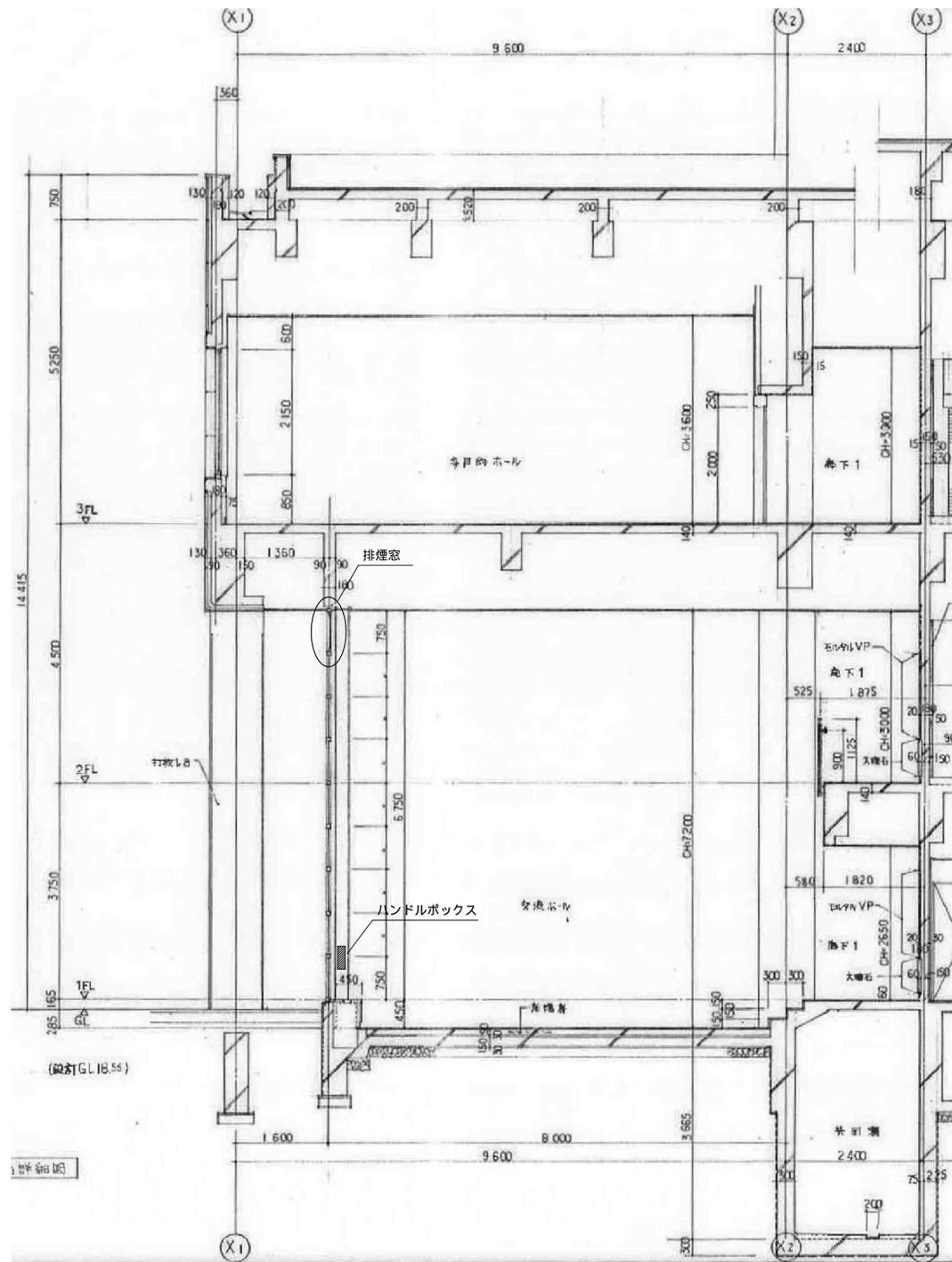
壁付
蓄電池内蔵



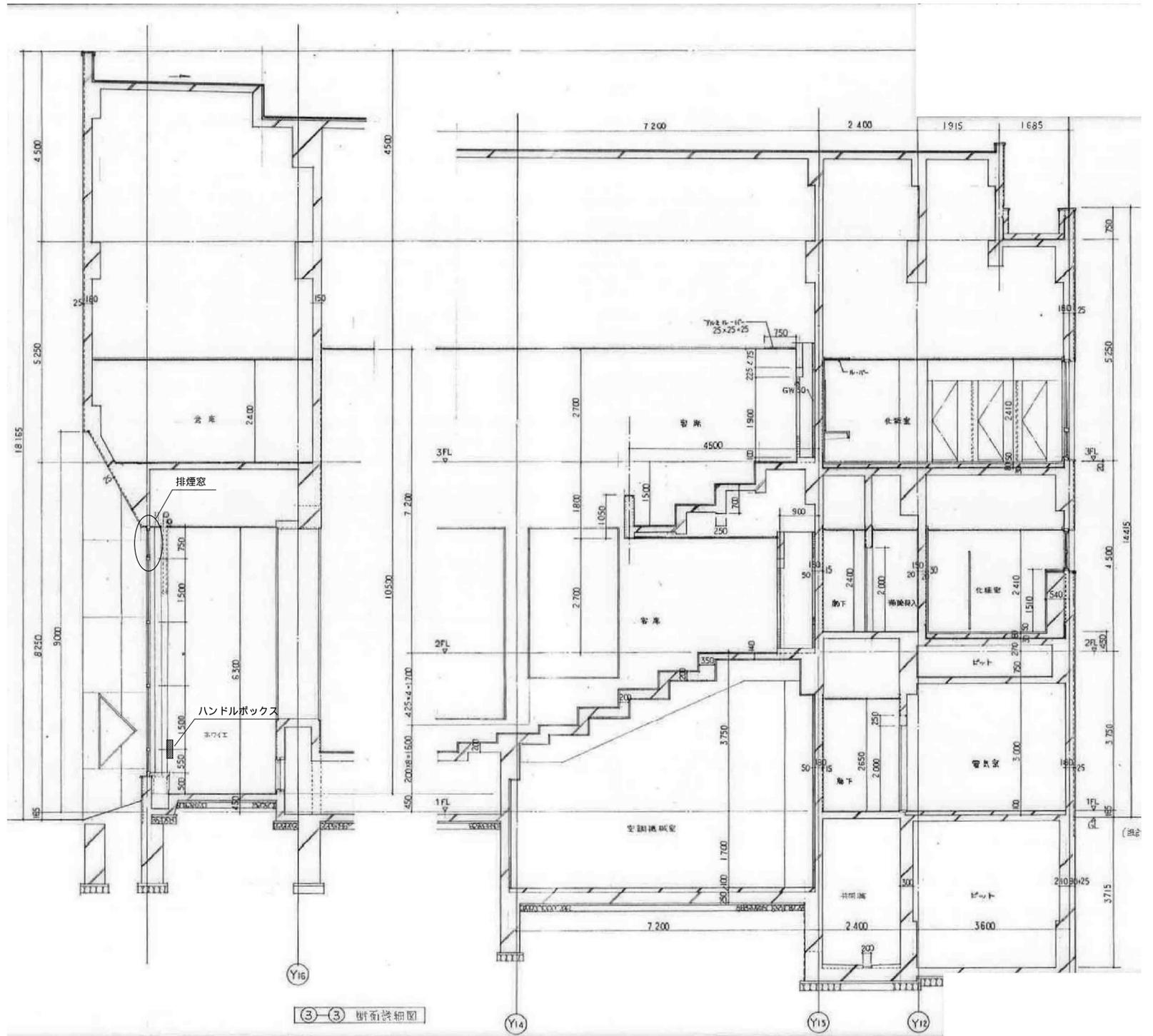
講堂		
客席誘導灯	更新	1台
廊下2		
消火栓ホース	更新	2本
廊下1		
消火栓ホース	更新	2本



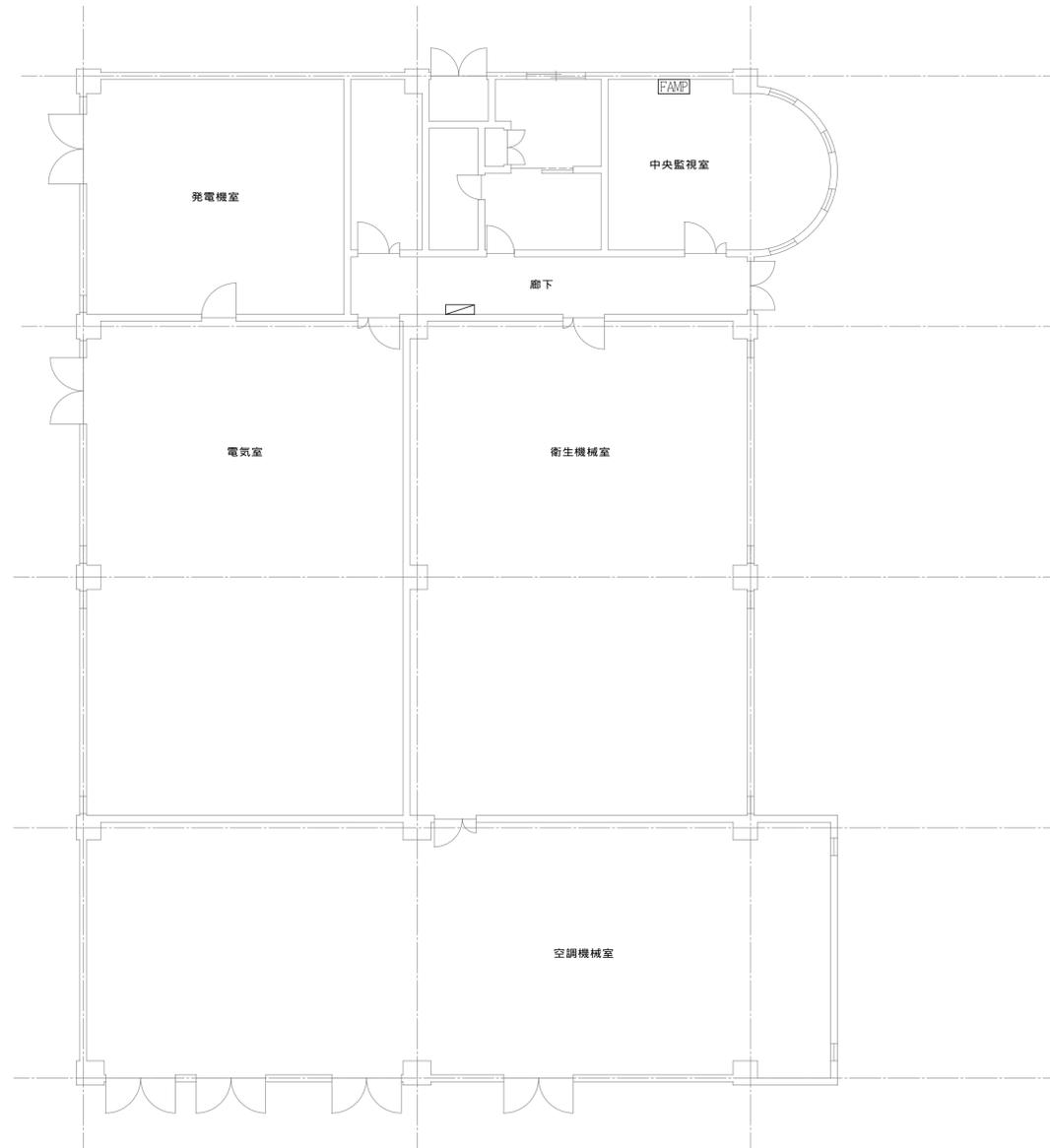
3階平面図 1/200



交流ホール 矩形詳細図 (参考図)



講堂 矩形詳細図 (参考図)

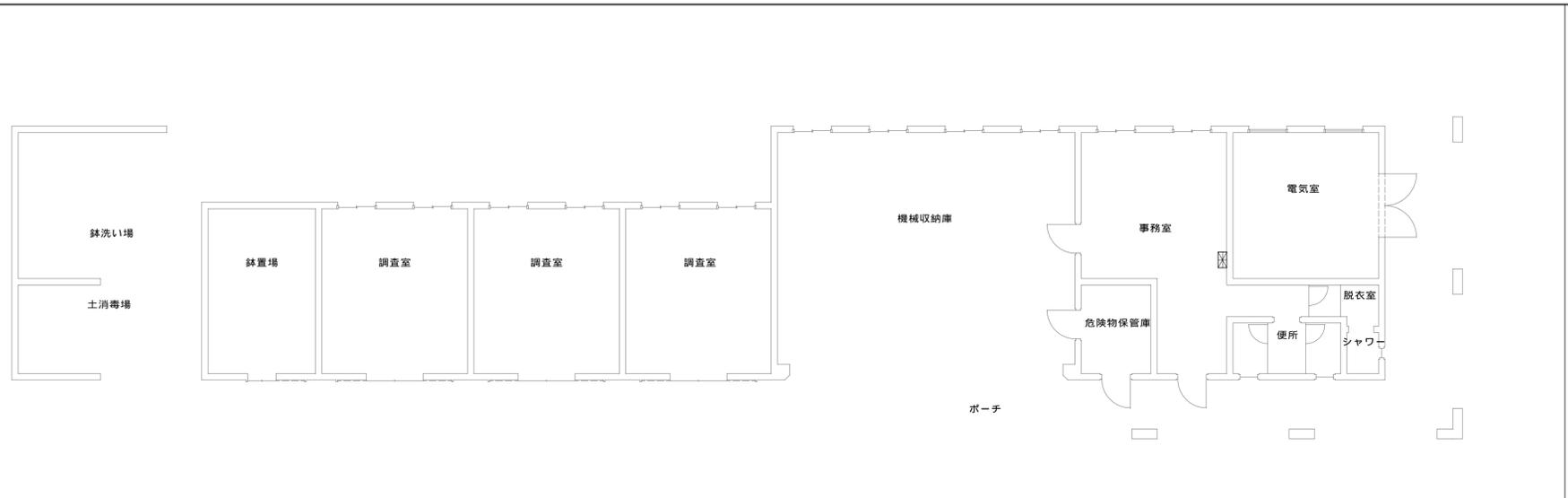


中央監視室	
非常放送アンプ蓄電池	更新 7本
廊下	
消火栓ホース	更新 1本

凡 例		
記 号	名 称・規 格	更 新 内 容
FAMP	非常放送アンプ	非常電源ユニット内蓄電池更新 更新前：ニッケルカドミウム蓄電池 6000mAh × 7本 更新後：ニッケル水素蓄電池 7000mAh × 7本
□	屋内消火栓	消火栓ホース 1本 更新 (1本対象外)

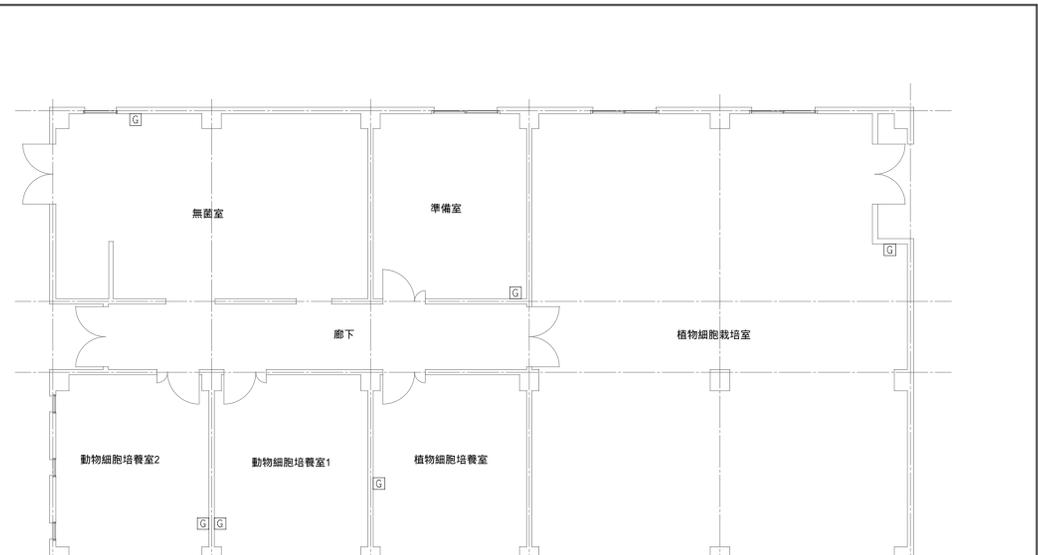
注 記

1. 改修工事において、改修に関りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。



実験農場 作業棟 1/100

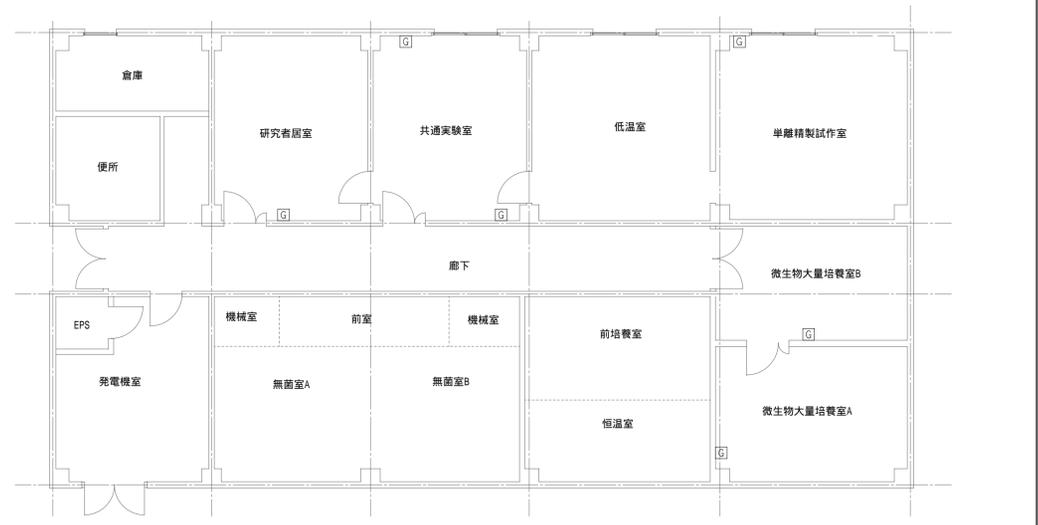
事務室	更新	1台
P型2級受信機 露出型	更新	1台



実験農場 動植物棟 1/100

無菌室	更新	1個
ガス検知器	更新	1個
動物細胞培養室1	更新	1個
ガス検知器	更新	1個
動物細胞培養室2	更新	1個
ガス検知器	更新	1個

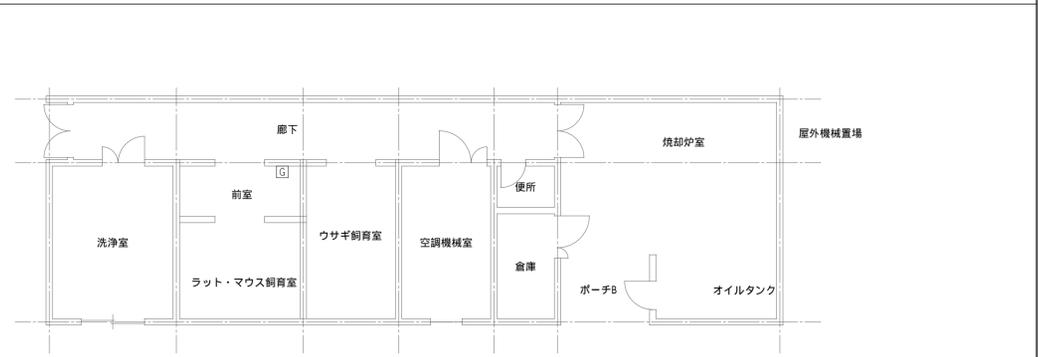
植物細胞栽培室	更新	1個
ガス検知器	更新	1個
準備室	更新	1個
ガス検知器	更新	1個
植物細胞培養室	更新	1個
ガス検知器	更新	1個



実験農場 微生物棟 1/100

共通実験室	更新	2個
ガス検知器	更新	2個
研究者居室	更新	1個
ガス検知器	更新	1個

単離精製試作室	更新	1個
ガス検知器	更新	1個
微生物大量培養室B	更新	1個
ガス検知器	更新	1個
微生物大量培養室A	更新	1個
ガス検知器	更新	1個



実験農場 小動物飼育室棟 1/100

前室	更新	1個
ガス検知器	更新	1個

凡例	記号	名称・規格	更新内容
	☑	P型2級受信機 露出型 5回線	受信機 更新
	G	ガス検知器 LPガス用 100V	検知器 更新

- 注記
1. 改修工事において、改修に関りの無い部分については現状の機能を損なわないよう十分に注意して施工を行うこと。
 2. 既設回路を十分調査の上、施工のこと。
 3. 図面に記載無くても施工に伴う必要な工事は全て本工事に含む。

